

Digital Photo Camera

デジタルフォトカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、
必ず保存してください。

DKC-5000

ご注意

この度はソニーデジタルビデオインターフェースシステム (DKC-5000、以下本製品といいます) をお買い上げいただきありがとうございます。お客様には本製品を有効に利用していただくために、サンプルソフトウェアとしてDKC-5000 PLUG-IN MODULE (以下本ソフトウェアといいます) を用意いたしましたのでご利用ください。

1. 本ソフトウェアおよび関連書類の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変を行なうことはできません。
2. 本ソフトウェアは本製品においてのみ使用できるものとし、第三者に使用させてはならないものとします。また、関連書類も含めて日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
3. 本ソフトウェアに関し、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. 本ソフトウェアはサンプルとして提供されるものであり、弊社は本ソフトウェアの瑕疵その他に関し、一切保証しないものとします。
5. 本ソフトウェアの活用により第三者との間で著作権、特許権その他の無体財産権の侵害を理由として紛争を生じた場合であっても、弊社は一切責任を負わないものとします。
6. 本ソフトウェアを使用しない場合は、当該フロッピーディスクおよび関連資料等を廃棄してください。

録音済みテープ、録音済みディスク、放送番組などからの画像を無断で使用すると、(著作権法により無断使用が許可されている場合のほかは) 著作権法に違反しますので適切な権利処理をしてからご使用ください。

この装置は、第一種情報装置(商工業地域において使用されるべき情報装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MacintoshはApple Computer, Inc. の登録商標です。

AdobeはAdobe Systems, Inc. の登録商標です。

Adobe PhotoshopはAdobe Systems, Inc. の登録商標です。

はじめに	この取扱説明書について 5
	システムの特長 6
	主な使用例 7
	モニター画面の表示モードとカメラのモード 9
操作	操作について 11
	電源を入れる/切る 12
	電源を入れる 12
	電源を切る 12
	カメラから離れずに操作する 13
	カメラの設定をする 13
	ホワイトバランスを調整する 15
	画角、ピントを合わせる 20
	絞りを合わせる 20
	撮影する 22
	撮影した画像を確認する 24
	プリントする 24
	ブラックバランスを調整する 28
	コンピューターから操作する 30
	操作を始める前に 30
	ソフトウェアを起動する 32
	絞りを合わせる 33
	撮影する 33
	Photoshopに画像を転送する 34
	画像をクロップする 34
フォトブルーフシステムとして使う 35	
電源を入れる前に 35	
撮影する 36	
設置	付属品を確認する 38
	接続する 39
	SCSIケーブルの接続方法 40
	カメラを設置する 42
	DIPスイッチの設定 43
調節	カメラの設定を変更する 44
	ソフトウェアを使う 51
	各パネルの機能 52

その他

使用上のご注意 60

安全にお使いいただくために 60

設置上のご注意 60

主な仕様 62

DKC-5000 (カメラ) 62

DKC-5000 (デジタルプロセッサー) 63

保証書とアフターサービス 65

メッセージ 66

故障とお考えになる前に 67

各部の名称とはたらき 68

カメラ 68

デジタルプロセッサー 69

付属のリモコンRM-S72 71

別売りのリモコンRM-930 72

索引 74

この取扱説明書について

本書はデジタルフォトカメラDKC-5000の概要と操作、および設置方法について説明します。本書の構成は以下のとおりです。

はじめに

本書の使いかた、本システムの特長と本システムに関する基礎知識を説明します。

操作

本システムの操作方法は使用目的によって大きく2つの方法に分けて説明します。まずカメラのそばを離れずに操作を行う方法、次にコンピューターから操作を行う方法です。また、ソフトウェアのインストール方法についてもここで説明します。

設置

本システムを構成する各装置の接続とカメラの設置方法、さらにDIPスイッチの設定について説明します。

調節

カメラの設定の変更方法を説明します。

その他

使用上のご注意、仕様、各部の名称と機能など、本システムに関する補足情報を集めてあります。

システムの特長

デジタルフォトカメラDKC-5000は静止画専用カメラで撮影した画像をデジタルプロセッサーで処理してメモリーに記憶するシステムです。記憶した画像はSCSIバスを經由してビデオプリンターに送ってプリントしたり、コンピューターに送って処理することができます。

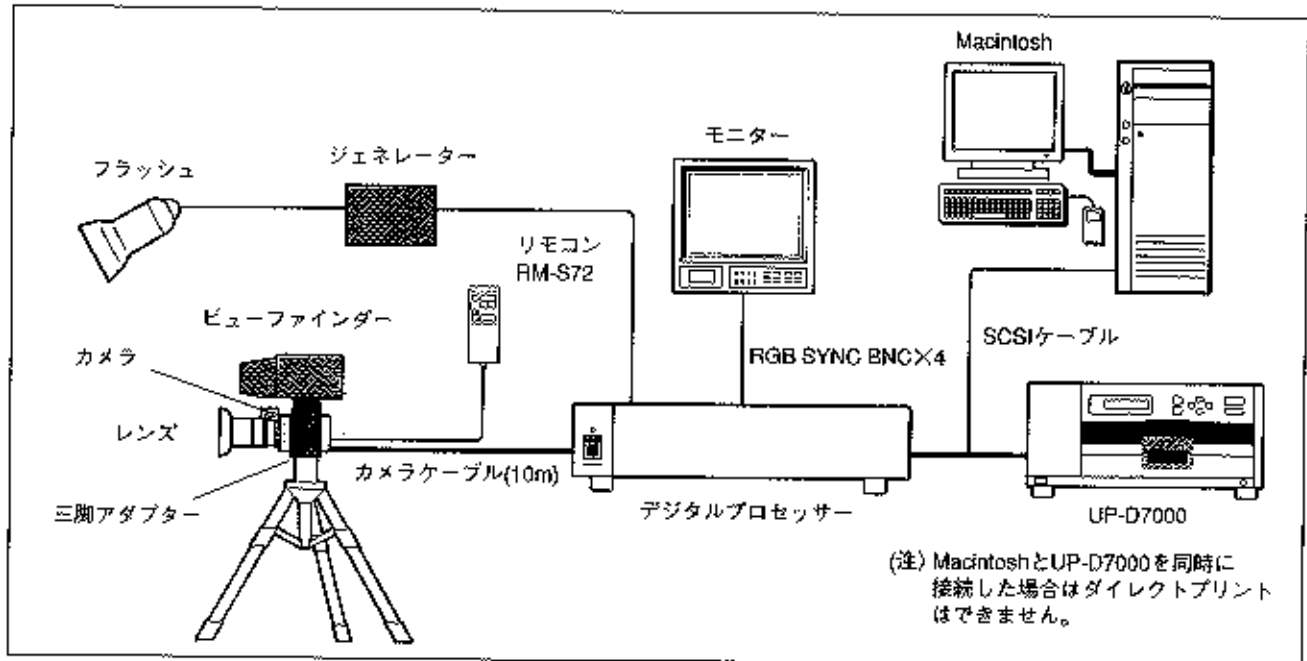
以下に本システムの特長を述べます。

- ・カメラヘッドに1/2インチ44万画素CCDを3枚使用、斜め画素ずらしと高精細技術により、水平/垂直とも800TV本以上の解像度を実現。(20℃定常温度使用時)
- ・拡張メモリーの増設により、最高10画面の画像が記憶でき、連写後使用する画像の選択が可能。
- ・デジタルビデオプリンターUP-D7000をコンピューター無しで直接制御可能。
- ・A/D変換時のルックアップテーブルは10ビット構成で、任意の階調表現が可能。
- ・ダイナミックレンジ(γ)の最適化が可能。
- ・専用レンズは、絞りの応答が速く、正確にコントロールが可能。
- ・専用レンズは、フォーカスリングとズームリングの動きが軽く、スムーズなマニュアル調節が可能。
- ・カメラまわりの操作方法が、通常のカメラと似ているため、ビデオカメラやデジタル機器になれていないフォトグラファーでも操作が容易。
- ・1/2インチ系/FB 38 mm/パヨネットタイプレンズマウントを使用しているため、専用レンズ(VCL-712BX5)以外にも一般の1/2インチレンズが使用可能。アダプタの使用により2/3インチレンズも使用可能。
- ・X接点出力によるフラッシュ同期撮影に対応。
- ・レリーズ同期で、銀塩(マミヤ製RZ-67)カメラとのフォトブルーフィング可能。
- ・Macintoshのフォトショップ上で動作するアプリケーションソフト(プラグインモジュール)からすべてのファンクションがコントロール可能。

主な使用例

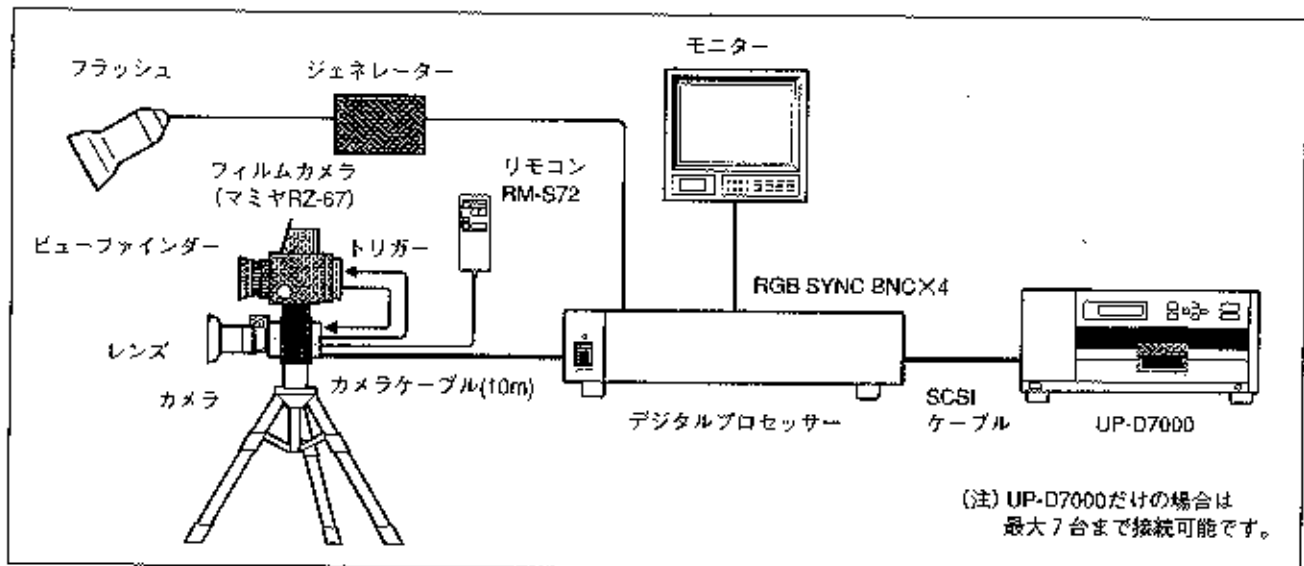
ポートレートシステム

フルカラーデジタルプリンターと組み合わせたインスタントポートレートシステムです。複数枚の画像を取り込んだあと、モニターで確認してプリントアウトする画像を選択できます。



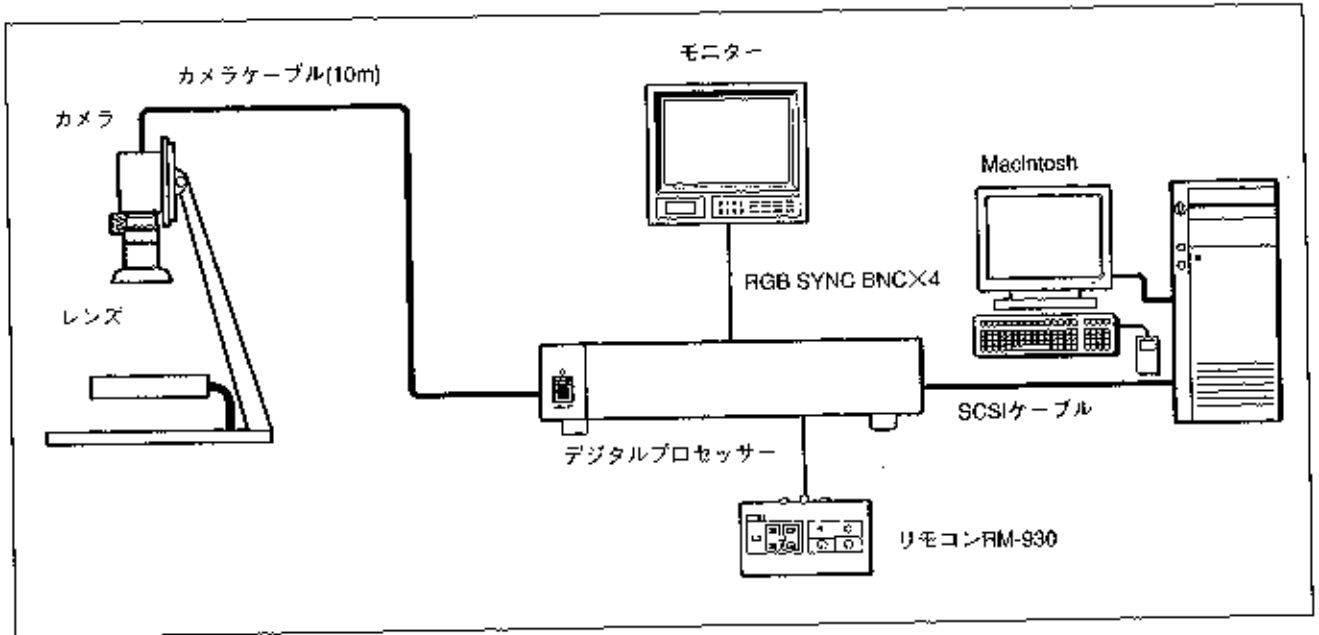
フォトブルーフシステム

銀塩カメラと組み合わせて使用するシステムです。現像、引き伸ばし、焼き付けをする前に撮った画像の確認ができるため、作業性が良くなります。



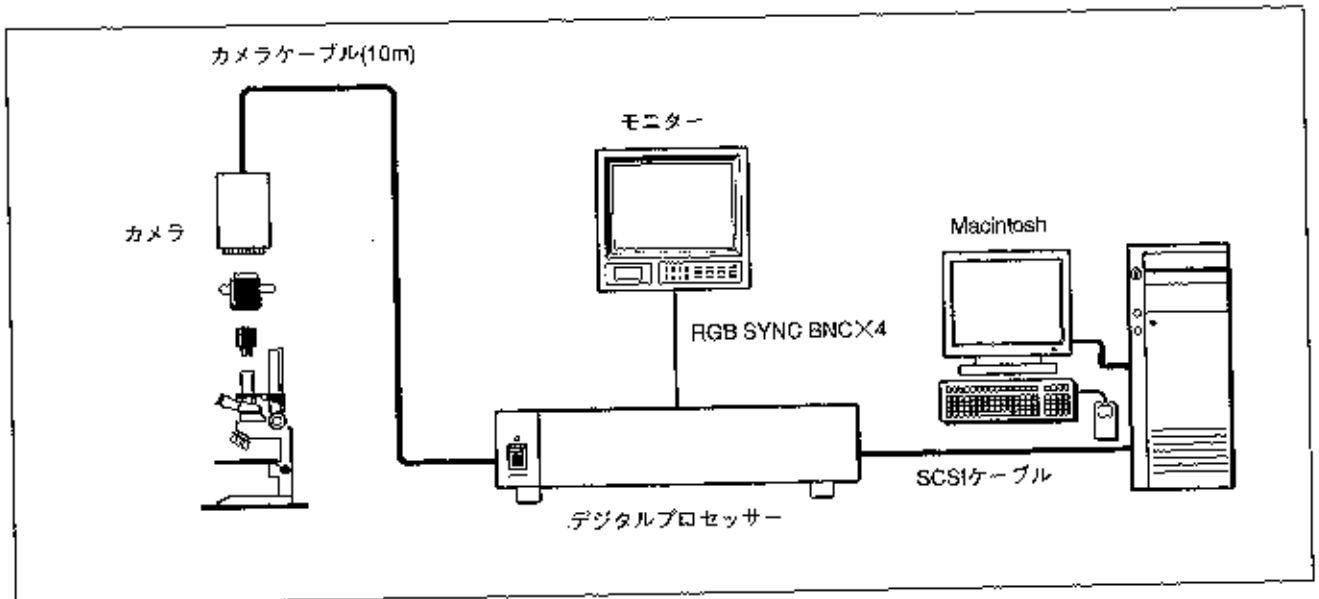
静止画像ファイリングシステム

コンピューターと組み合わせて画像ファイリングシステムの画像データを入力するために使用するシステムです。



メディカルシステムにおける入力システム

メディカルシステムにおける画像データの取り込みに使用するシステムです。



モニター画面の表示モードとカメラのモード

ここではモニターの表示モードとカメラの表示モードの関係について説明します。

表示モード

モニター画面（およびビューファインダー画面）には3種類の表示モードがあります。

リモコンのDISPボタンを押すと現在のモードが画面の下部に表示されます。

・CAMERAモード(CAMERA)

絞りは開放状態で、カメラで写している動画映像がそのままビューファインダーとモニターに表示されます。このモードでRELEASEボタンを押すと、絞りが設定値に合わされてから画像がメモリーに取り込まれるまで若干時間がかかります。

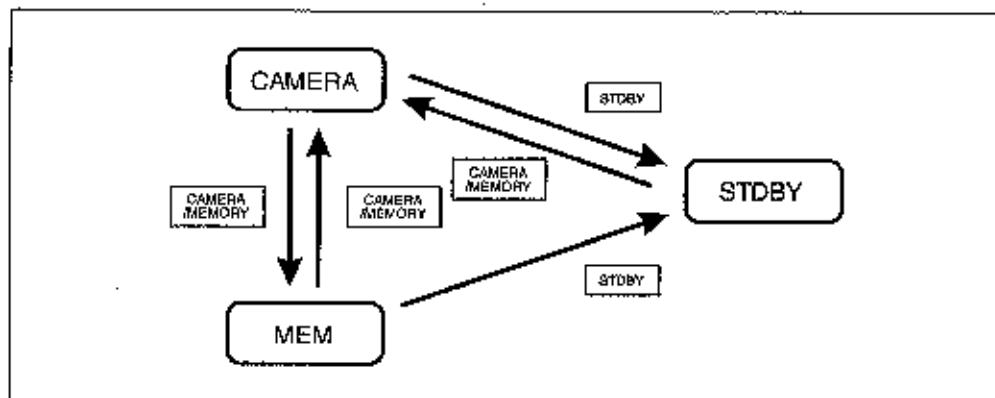
・MEMORYモード(MEM)

メモリーに保存された画像がビューファインダーとモニターに表示されます。メモリーの切り換えもこのモードで行います。

・STANDBYモード(STDBY)

絞りを設定値にした状態でカメラで写している画像がビューファインダーとモニターに表示されます。このモードでRELEASEボタンを押すと画像がすぐにメモリーに取り込まれます。

モードの切り換えは、リモコンのCAMERA/MEMORYボタンとSTDBYボタンを使います。ボタンとモード変化の関係は次のとおりです。



カメラのモード

カメラは大きく分けると、LIVEモードとSTILLモードの2つのモードを持っています。

LIVEモード

LIVEモードは撮影する前に被写体のレイアウトの確認などを行うために使用します。

カメラがLIVEモードになるとレンズの絞りは強制的に開放になります。

画面の明るさは、カメラのISO感度とシャッタースピードの設定によって制御します。

STILLモード

STILLモードは被写体の撮影を行うために使用します。

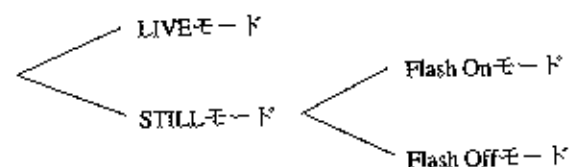
カメラがSTILLモードになるとレンズの絞りはあらかじめ設定されていた値に絞られます。

さらに、STILLモードの中にはFlash OnモードとFlash Offモードの2つのモードがあります。

Flash Onモードはフラッシュを使用して撮影を行なう場合に使用します。カメラがFlash Onモードになると色温度が強制的に5600Kに設定されます。また、電子シャッターのスピードが1/25秒に固定されます。

Flash Offモードはフラッシュを使用しないで撮影を行なう場合に使用します。カメラがFlash Offモードの場合にはいくつかの設定値がLIVEモードの設定と共有になります。

カメラはいくつかの設定値を各モードごとに独立して持ちます。



表示モードとカメラのモードの関係

モニター画面の表示モードに合わせて、カメラのモードが切り換わります。たとえば、本機をCAMERAモードにすると、カメラのモードは自動的にLIVEモードに切り換わり、モニターにはカメラの画像が表示されます。また、本機をSTANDBYモードにすると、カメラのモードは自動的にSTILLモードに切り換わり、モニターにはカメラの画像が表示されます。

本機の表示モードとカメラのモードの関係を表にすると次のようになります。

表示モード	カメラのモード	モニターに表示される画像
CAMERA	LIVE	カメラの画像
STANDBY	STILL	カメラの画像
MEMORY	LIVEまたはSTILL	フレームメモリーの画像

ご注意

- ・表示モードをMEMORYにしたとき、カメラのモードは設定されていたモードのまま変化しません。
- ・表示モードはカメラのFlash On/Offの設定には影響されません。

通常の操作は、同じことをカメラの側からでもコンピューターからでも行うことができます。目的に応じてやりやすい操作方法を選んでください。例えば、フォトブルーフシステムなどコンピューターで画像を処理する必要がない場合は、撮影準備からプリントアウトまでのすべての操作をカメラのそばだけで済ませることができます。

ここでは、次の操作について説明します。

- ・電源を入れる／切る (12ページ)
本機の周辺機器の電源の入／切の順序を説明します。

- ・カメラから離れずに操作する (13ページ)
常にカメラのそばで作業をしたい方のために、カメラから離れずに操作する方法を説明します。

- ・コンピューターから操作する (30ページ)
コンピューターでの編集作業などがメインの方のために、コンピューターから操作する方法を説明します。

- ・フォトブルーフシステムとして使う (35ページ)
フォトブルーフシステムとして使う場合に必要、特別な操作について説明します。

電源を入れる／切る

本システムおよび周辺機器は、次の順番で電源の入／切を行ってください。

電源を入れる

初めてお使いになるときは、電源を入れる前に必ずDIPスイッチの設定を行ってください。
(43ページ)

次の手順で電源を入れます。

- 1** プリンター、モニターなどの周辺機器の電源を入れます。
- 2** デジタルプロセッサの電源を入れます。
電源を入れた瞬間に“ピッ”という音がします。しばらくして使用可能になると“ビビッ”という音がします。
- 3** コンピューターを使用する場合は、コンピューターの電源を入れます。

注意

デジタルプロセッサが使用可能になる“ビビッ”という音がする前に、コンピューターの電源を入れると、コンピューターが立ち上がらないことがあります。ご注意ください。

電源を切る

次の手順で電源を切ります。

- 1** コンピューターを使用している場合は、コンピューターの電源を切ります。
- 2** デジタルプロセッサの電源を切ります。
- 3** プリンター、モニターなどの周辺機器の電源を切ります。

カメラから離れずに操作する

カメラのそばで本機を操作するには、カメラ本体と付属のリモコンRM-S72を使用します。

ここでは、カメラ本体とリモコンに関する次の操作について説明します。

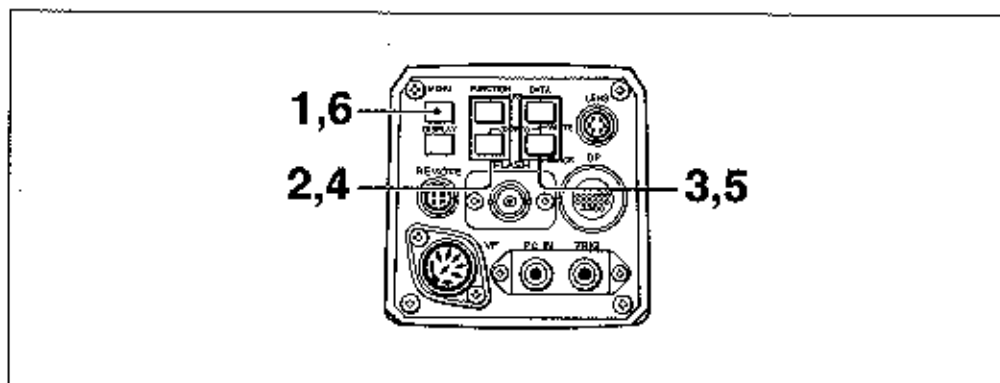
- ・カメラの設定を行う (13ページ)
- ・ホワイトバランスを調整する (15ページ)
- ・画角、ピントを合わせる (20ページ)
- ・絞りを合わせる (20ページ)
- ・撮影する (22ページ)
- ・撮影した画像を確認する (24ページ)
- ・プリントする (24ページ)
- ・ブラックバランスを調整する (28ページ)

ご注意

カメラを初めて使うときには、最初にブラックバランスの調整を行ってください。

カメラの設定をする

撮影に入る前に、色温度およびカメラの照明条件を設定します。

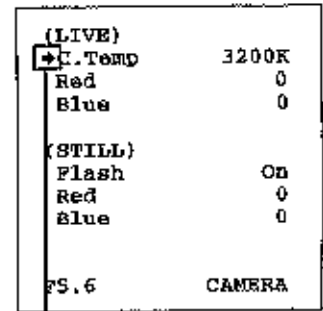


- 1 MENUボタンを押します。
通常メニューが現れます。

(LIVE)	
→C.Temp	3200K
Red	0
Blue	0
(STILL)	
Flash	On
Red	0
Blue	0
F5.6	CAMERA

次のページに続く⇒

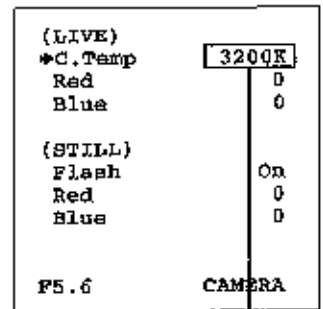
- 2** FUNCTION UP、DOWNボタンを押して、C.Tempに→を合わせます。



→をC.Tempに合わせる

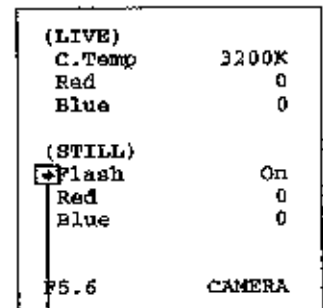
- 3** DATA UP、DOWNボタンを押して、LIVEモードの色温度を選びます。

撮影に使う光源	色温度
タングステン光	3200K
太陽光、蛍光灯、	5600K



希望の設定を表示させる

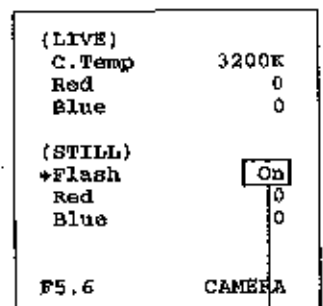
- 4** FUNCTION UP、DOWNボタンを押して、Flashに→を合わせます。



→をFlashに合わせる

- 5** DATA UP、DOWNボタンを押して、Flashを使うかどうかを選びます

照明条件	設定
フラッシュを使うとき	On
フラッシュを使わないとき	Off



希望の設定を表示させる

STILLモードの色温度

Flash Offのとき：LIVEモードで設定した色温度
 Flash Onのとき：5600K(固定)

- 6** MENUボタンを押して、メニューを消します。

ホワイトバランスを調整する

初めてカメラを使用するとき、および照明条件が変わったときは、自然な色調の画像を得るために、必ずホワイトバランスを調整してください。

このカメラでは、定常光に対するホワイトバランスと、フラッシュ光に対するホワイトバランスを自動調整することができます。調整値は、電源を切っても約10年間記憶されます。

Flash Onのとき

定常光のホワイトバランス、およびフラッシュ光のホワイトバランスをとる必要があります。定常光のホワイトバランスは、CAMERAモードで画面の確認を行うためのものです。フラッシュ光のホワイトバランスは、フラッシュを光らせて画像を取り込むとき必要になります。

Flash Offのとき

定常光のホワイトバランスをとります。

ホワイトバランスをとる光源と表示モードについて

Flash Onでは、ホワイトバランスをとる光源は、表示モードにより異なります。

Flash Offでは、表示モードに関わらず、定常光のホワイトバランスをとります。

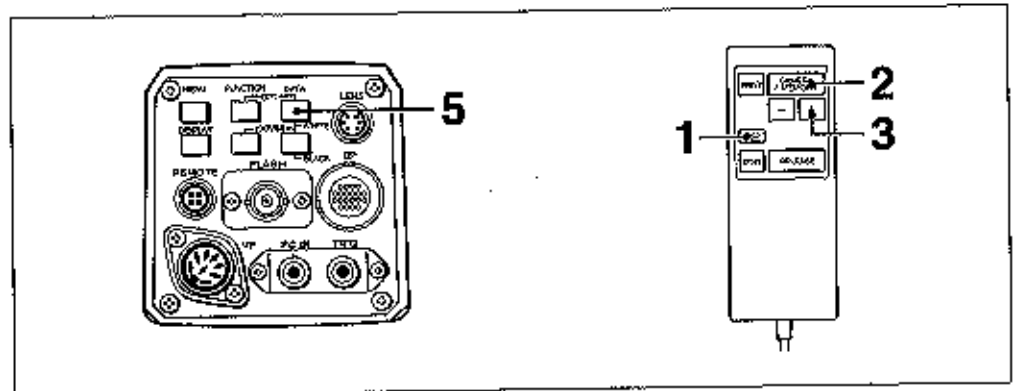
照明条件	表示モード	
	CAMERAモード	STANDBYモード
Flash On	定常光	フラッシュ光
Flash Off	定常光	定常光

定常光のホワイトバランスをとる

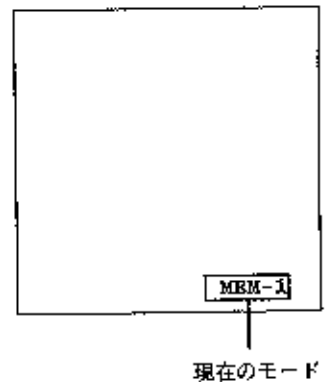
定常光に対するホワイトバランスをとります。ストロボを使用するときも、この方法で定常光のホワイトバランスをとってください。

確認

この操作をする前に、カメラの設定 (色温度および照明条件) 済ませておいてください。
(13ページ)

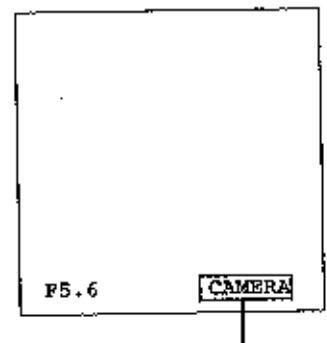


- 1 DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



現在のモード

- 2 Flash Onのとき
CAMERA/MEMORYボタンを押して、
CAMERAモードにします。



CAMERAを表示させる

Flash Offのとき

CAMERA/STANDBYどちらのモードでもホワイトバランスをとることができます。

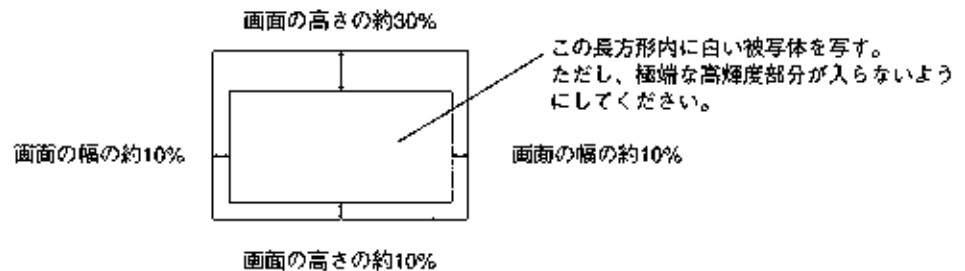
3 レンズの絞りを調整します。

レンズの種類	操作
専用レンズ、自動アイリスレンズ	レンズのスイッチをAUTOにする。
手動アイリスレンズ	適切な絞り値に合わせる。

Flash OffでSTANDBYモードのとき

レンズの絞りをリモコンの+、-ボタンで調整してからホワイトバランスをとってください。(20ページ)

4 被写体と同じ条件の場所に、白いもの(ホワイトパターンや白い布)を置き、ズームアップして、画面に白だけを映します。



5 WHITEボタンを押します。

調整が終了すると、ビューファインダーおよびモニターに「WHITE:OK」と表示されます。

ご注意

Flash On/OffにかかわらずCAMERAモードでホワイトバランスをとる場合、CAMERAモードのISOとシャッタースピードがともにAUTOになっていれば、明るさは自動調整されますが、AUTO以外の値にする場合は適切な明るさになるように設定してください。

フラッシュ光のホワイトバランスをとる

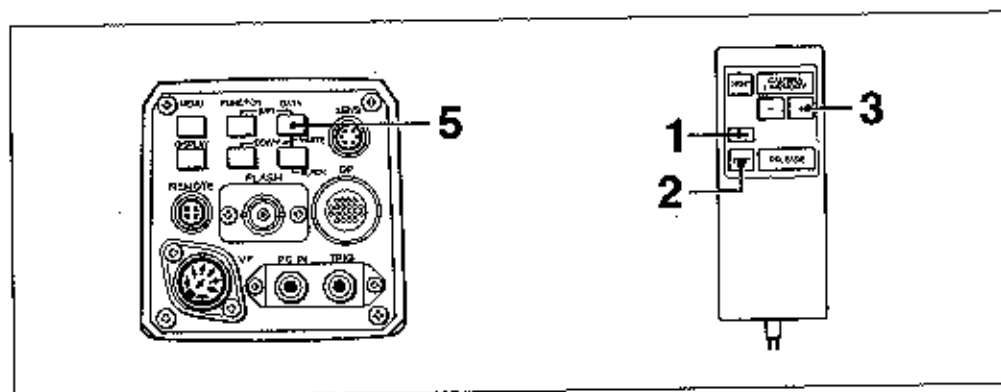
Flash Onのとき、フラッシュを発光させて、フラッシュ使用時のホワイトバランスをとります。

確認

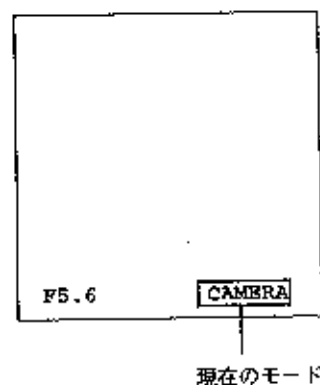
この操作をする前に、次のことを済ませておいてください。済んでいない場合は参照ページをご覧ください。

- ・カメラの設定 (色温度および照明条件) をします。(13ページ)
- ・フラッシュの発光間隔を設定します。(48ページ)

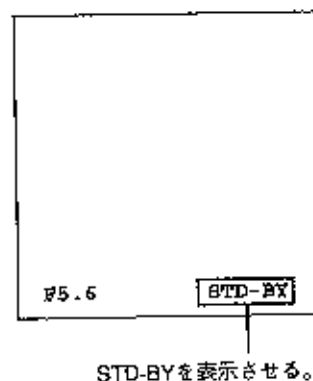
フラッシュのチャージ時間よりも発光間隔の設定値が短いと、自動調整がうまく働きません。ご注意ください。



- 1** DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



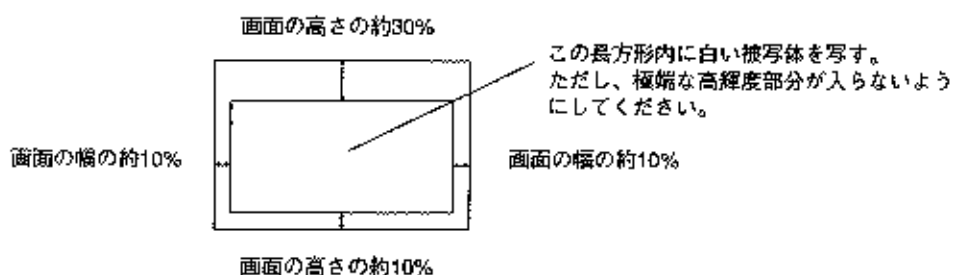
- 2** STDBYボタンを押して、STANDBYモードにします。



3 レンズの絞りを調整します。

レンズの種類	操作
専用レンズ、自動アイリスレンズ	レンズのスイッチをAUTOにし、付属のリモコン (RM-S72) の+、-ボタンで適切な絞り値に合わせる。
手動アイリスレンズ	適切な絞り値に合わせる。

4 被写体と同じ条件の場所に、白いもの (ホワイトパターンや白い布) を置き、ズームアップして、画面に白だけを映します。



5 WHITEボタンを押します。

フラッシュが4~10回発光します。

10数秒から数10秒で調整が終了し、ビューファインダーおよびモニターに「WHITE:OK」と表示されます。

ご注意

ホワイトバランスの調整はコンピューターのプラグインソフトを立ち上げる前に必ず行ってください。

調整できなかったときは

ホワイトバランスが自動調整できなかった場合は、次のエラーメッセージが表示されます。説明を参考にしてもう一度調整しなおしてください。

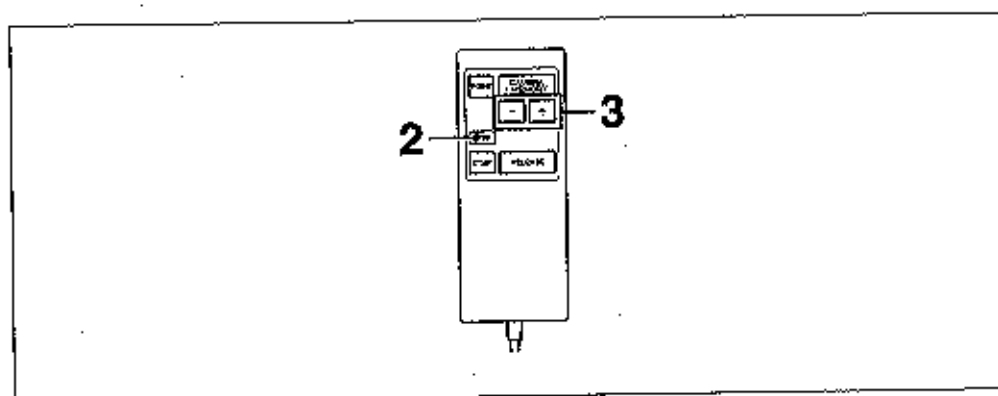
エラーメッセージ	説明
WHITE: NG	ホワイトバランスが調整できない
WHITE: NG LEVEL: Low	映像レベルが低すぎる。
WHITE: NG LEVEL: High	映像レベルが高すぎる。 または、高輝度の被写体が画面にある。
WHITE: NG C.TEMP High	被写体の色温度が高すぎる。
WHITE: NG C.TEMP: Low	被写体の色温度が低すぎる。

画角、ピントを合わせる

カメラを被写体に向け、ビューファインダーを見ながらレンズ本体でズームとフォーカスを調節します。

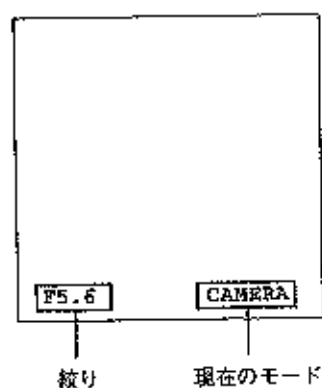
VCL-712BXS以外で、オートズーム、オートフォーカスが可能なレンズは、別売りのリモコンRM-930からコントロールできます。これらのレンズをマニュアルで操作する場合は、レンズのスイッチをMANUALに切り換えてください。

絞りを合わせる

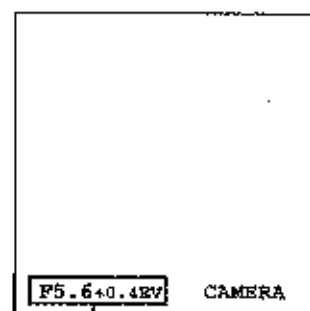


1 レンズの絞りのスイッチをAUTOに合わせます。

2 DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



3 +、-ボタンで絞りを設定します。



希望の設定を表示させる

絞りの値は、お使いになるレンズにより、次のように変化します。

レンズの種類 (設定)	絞りの値
VCL-712BXS (712BXS)	CLOSE~FL4 (0.2EVステップ)
その他 (Others)	0~51 (0:CLOSE、51:OPEN)

ご注意

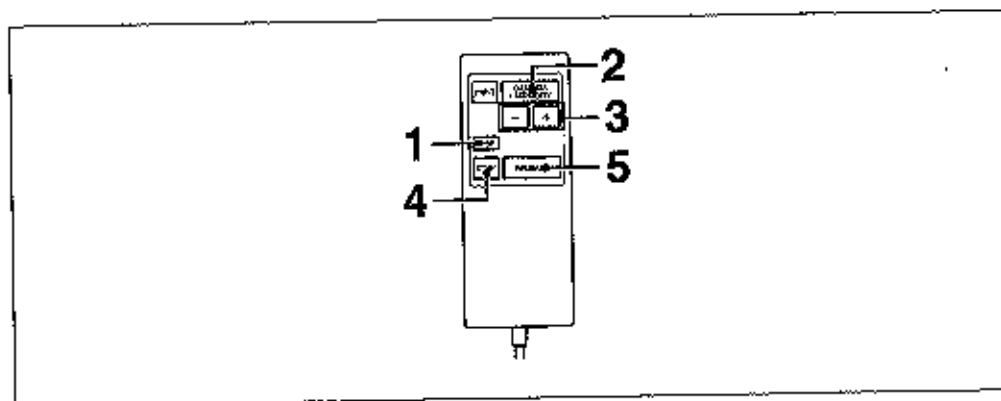
VCL-712BXSの場合は、F値に従って正確に絞りをコントロールします。

しかし、それ以外のレンズでは、レンズによって特性が異なるため、正確に動作しないことがありますのでご注意ください。ただし、オープンの状態から目標値までいっきに動作させる場合には、正確に絞りをコントロールすることができます。

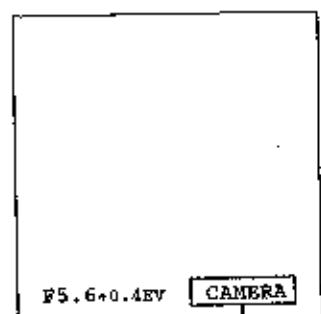
撮影する

人物などを被写体にするとき、タイミングを見ながら撮影ができます。このとき、あらかじめ絞りを設定値まで絞っておき、画像を取り込みます。

また、静物など撮影のタイミングが不要なときは、絞りと取り込みを1回の動作で行うことができます。

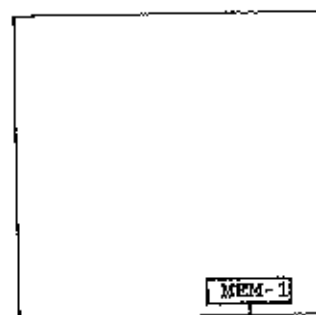


- 1 DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



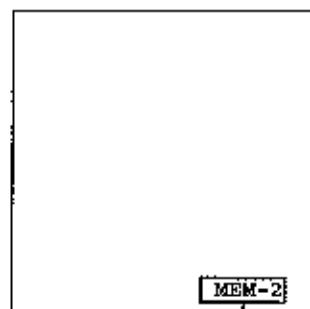
現在のモード

- 2 CAMERA/MEMORYボタンを押し、
MEMORYモードにします。



MEMにする

- 3** +、-ボタンで画像を取り込みたいメモリーを選びます。



希望のメモリーを表示させる。

- 4** STDBYボタンを押します。

絞りが設定した値になります。

絞り値によっては、ビューファインダーおよびモニターの画像が暗くなります。

レンズの設定が712BXSの場合は約0.5秒で設定値まで絞ります。Othersの場合は、画面に「WAIT」というメッセージが表示され、約2秒で設定値まで絞ります。

絞りが終わると、ピピッという音がします。

絞りと取り込みを1回の動作で行うときは

この操作は必要ありません。手順5に進んでください。

- 5** RELEASEボタンを押します。

画像がメモリーに取り込まれます。

モード表示がOFFのとき、およびReleaseモードがContのときは、取り込んだメモリーの番号が一瞬表示されます。

手順4を行わなかったときは

自動的に絞りをを行い、画像がメモリーに取り込まれます。

SETUP-MODEのメニューでReleaseモードをContに設定しているときは

くり返しRELEASEボタンを押すことにより、最大10枚 (DKB-5008装着時) の画像を連続してメモリーに取り込むことができます。Contの場合、RELEASEボタンを押して次の動作に移るまでの間、STANDBY状態で待機しているモードと絞りが開いた状態になるCAMERAモードで待機する2つの状態を選択できます。取り込みのタイミングを重視する場合は前者、毎回画角等を確認する場合は後者が便利です。このモードの切り換えはSETUP-MODEメニューのIris Open On/Offで行ってください。

ReleaseモードをSingleに設定しているときは

くり返しRELEASEボタンを押すと、最後に押したときの新しい画像だけが指定されたメモリーに取り込まれます。

撮影した画像を確認する

撮影した画像をビューファインダーやモニターで確認することができます。

RELEASEモードがSINGLEの場合

RELEASEボタンを押すと自動的にMEMORYモードに切り換わり、すぐに撮った画面が確認できます。

CAMERA/MEMORYキーを押さない限り、カメラはSTANDBY状態を保っていますのでRELEASEキーを押しても、取り込みのタイミングを失いません。

RELEASEモードがCONTの場合

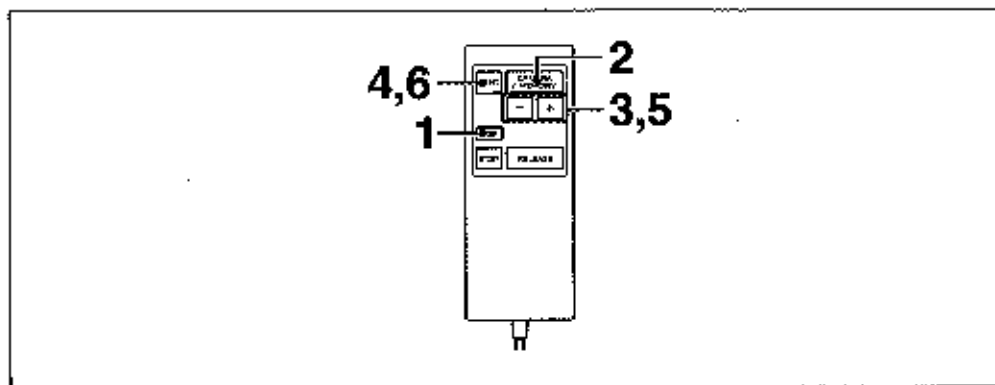
- 1 リモコンのCAMERA/MEMORYボタンを押しMEMORYモードにします。
ビューファインダーとモニターにメモリーに取り込まれている画像が表示されます。
- 2 +、- ボタンを押します。
メモリーが切り換わります。

プリントする

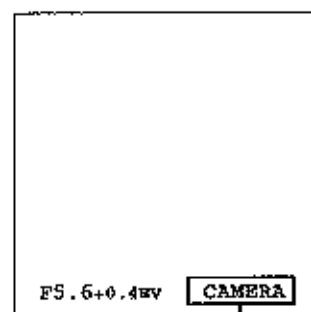
デジタルカラープリンターUP-D7000を接続している場合は、メモリー内の画像をリモコン操作でプリントできます。これをダイレクトプリントといいます。画像データの転送中は、プリントすることはできません。

ご注意

- ・MacintoshとUP-D7000を同時に接続しているときは、ダイレクトプリントはできません。このときは、コンピューターからUP-D7000のプリンター出力プラグインモジュール(UPS-7001H)または、プリンターセレクタードライバー(UPS-7002H)を使ってプリントします。
 - ・プリントするときは、電源を入れる前にデジタルプロセッサのDIPスイッチで、ダイレクトプリントをONに設定してください。(43ページ)
- また、デジタルプロセッサと同一のSCSIバスには、UP-D7000のみを接続してください。

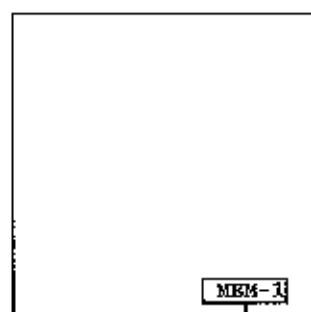


- 1** DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



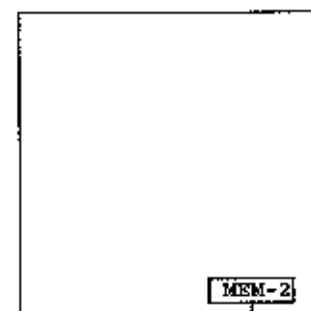
現在のモード

- 2** CAMERA/MEMORYボタンを押し、
MEMORYモードにします。



MEM-を表示させる

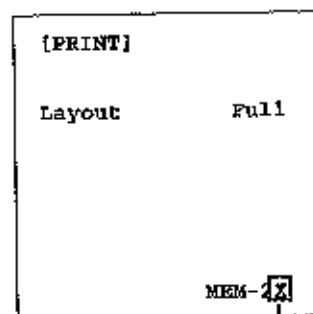
- 3** +、-ボタンでプリントしたい画像を選び
ます。



希望のメモリーを表示させる

次のページに続く➡

- 4 PRINTボタンを押します。
PRINTメニューが表示されます。

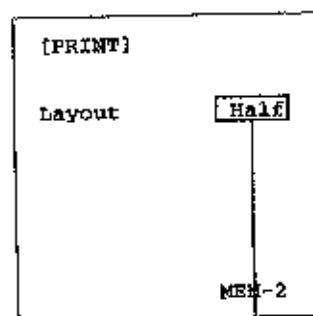


画像データ転送中のため画像が
取り込めないことを示します。
転送が終わると消えます。

PRINTメニューが表示されないとき

画像データの転送中のため、画像データの取り込みが行えない状態です。画像データの転送が終わるまで、しばらくお待ちください。

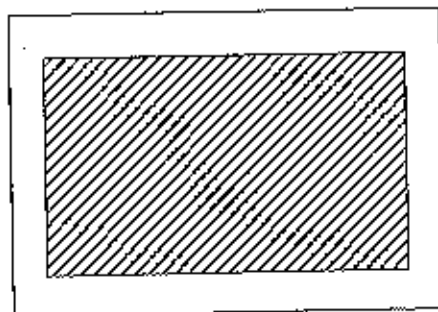
- 5 +、-ボタンでプリントサイズを選び
ます。



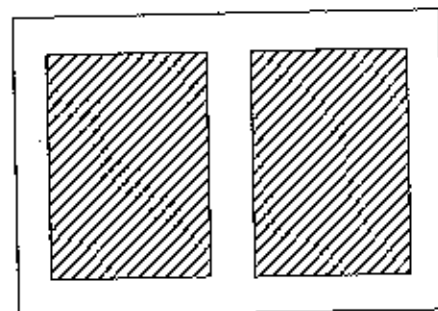
希望のサイズを表示させる

フルサイズ、ハーフサイズ、インデックスサイズの3種類があります。

フルサイズ (Full)



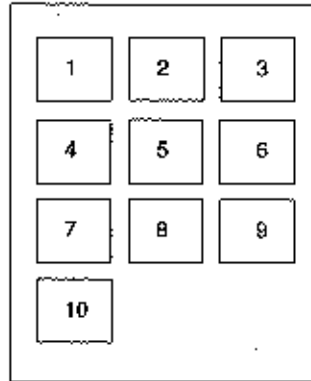
ハーフサイズ (Half)



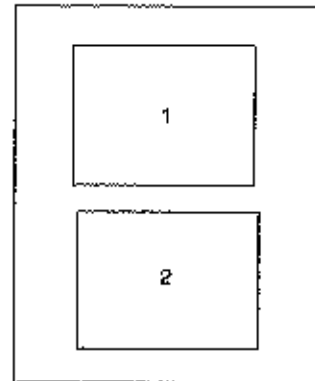
2枚とも同じ画像

インデックスサイズ (Index)

メモリーが10枚の場合
(別売りのボードDKB-5008を装着しているとき)



メモリーが2枚の場合



6 PRINTボタンを押します。

ピッと音がして、プリンターに画像データが転送され、プリントされます。

画像データがプリンターに転送されているときは、指定したメモリーに画像を取り込むことはできません。

繰り返しプリントするときは

PRINTメニュー表示中は、手順5、6を続けて行います。

約4秒の間にボタンを押さないと、PRINTメニューは消えます。PRINTメニューが消えたときは、手順4～6を行います。

プリントモードからぬけるときは

そのまま約4秒お待ちください。PRINTメニューが消えます。

画像が取り込まれていないメモリーをプリントしようとするとき

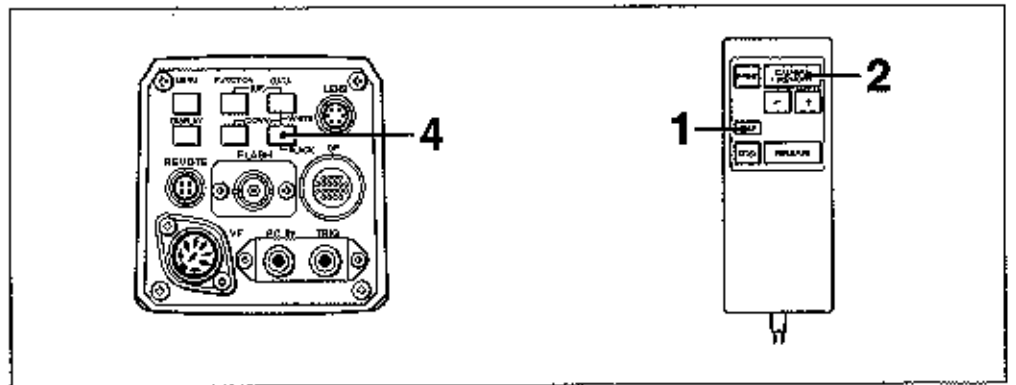
手順5で、フルサイズまたはーフサイズを選んだときは、エラーメッセージが表示され、プリントはされません。

ブラックバランスを調整する

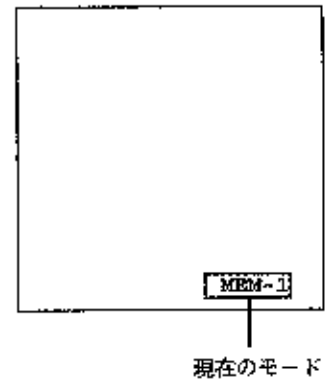
次の場合には、ブラックバランスの調整を行ってください。

- ・カメラを初めて使うとき。
- ・カメラを変えたとき。
- ・長時間カメラを使わなかったとき。
- ・周囲の温度が大幅に変化したとき、および季節の変わり目など。

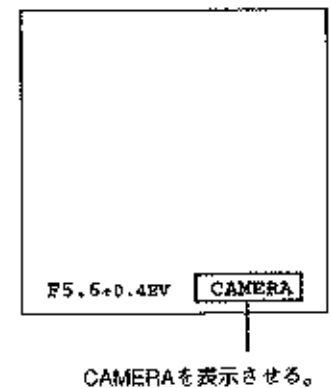
設定値は電源を切っても、約10年記憶されます。



- 1 DISPボタンを押します。
モード表示が現れます。



- 2 CAMERA/MEMORYボタンを押して、
CAMERAモードにします。



-
- 3** レンズの絞りのスイッチがAUTOになっていることを確認します。
調整中、レンズの絞りは自動的に閉じられます。

ご注意

マニュアル動作のレンズをお使いのときは、絞りを閉じてください。

- 4** BLACKボタンを押します。
調整が終わると、「BLACK:OK」とメッセージが表示されます。

調整中は、ビューファインダーやモニターにフリッカー（ちらつき）が数回ありますが、故障ではありません。

調整できなかったときは

ブラックバランスが調整できなかった場合は、次のエラーメッセージが表示されます。説明を参考にしてもう一度調整しなおしてください。

エラーメッセージ	説明
BLACK:NG	ブラックバランスが調整できない。
BLACK:NG	レンズの絞りが全開しておらず、レンズに光が入っている。
IRIS CLOSE?	

コンピューターから操作する

本システムを、DTP用の画像データを撮影したり、撮った画像をコンピューターで加工したりする目的で使用する場合には、ほとんどの操作をコンピューターから行うことができます。次に、本システムに付属のAdobe Photoshop 2.5用プラグインモジュールを使った本システムの操作方法を説明します。

確認

次の操作は、コンピューターからできないので、あらかじめ済ませておいてください。

- ・レンズのスイッチをAUTOにする
- ・被写体にカメラを向ける
- ・画角、ピントを合わせる (VCL-712BXSおよびこれらが自動で調整できないレンズ)
- ・ホワイトバランス、ブラックバランスを調整する (15、28ページ)

操作を始める前に

このソフトウェアはソニーデジタルフォトカメラDKC-5000の画像をAdobe Photoshop2.5で取り込むためのプラグインモジュールです。

必要なシステム

このソフトウェアを使用するためには次のようなシステムが必要となります。

ハードウェア

- ・8メガバイト以上のRAMとハードディスクを搭載したMacintoshシリーズより快適に使用していただくためには

16メガバイト以上のRAM

500メガバイト以上のハードディスク

フルカラービデオボード

を搭載したMacintosh Quadra800と同等以上のハードウェアを推奨します。

- ・ソニーデジタルフォトカメラDKC-5000 (Macintoshの標準SCSIポートに接続します。)

ソフトウェア

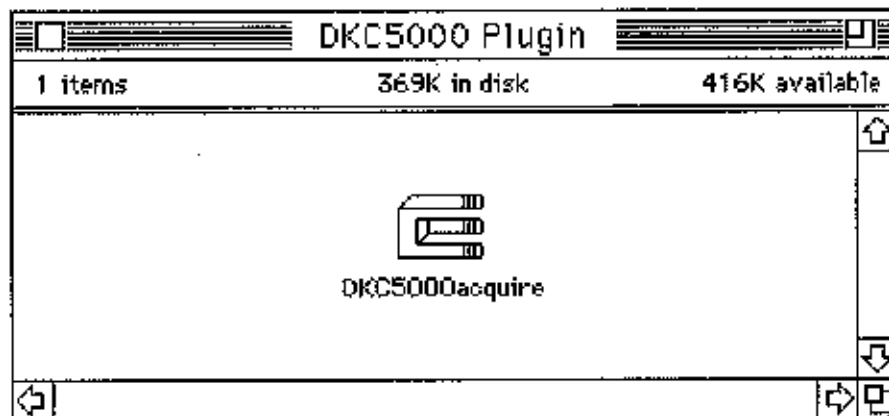
- ・漢字Talk 7.1
- ・Adobe Potoshop 2.5

インストールの方法

フロッピーディスクの内容

1つのAdobe Photoshop 2.5用プラグインモジュールが含まれています。

入力用プラグインモジュール (DKC-5000acquire)



フロッピーディスクの内容

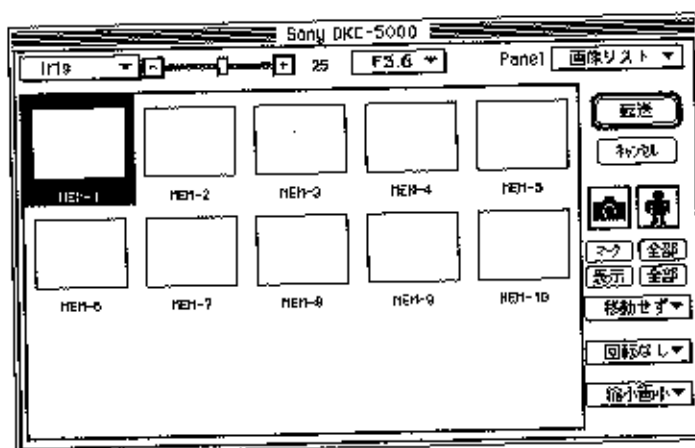
インストールの方法

プラグインモジュールをPhotoshopで指定したプラグインモジュール用フォルダにコピーしてください。

ソフトウェアを起動する

本システムを操作するための画面を表示するには、以下の手順に従ってください。

- 1 Photoshopを起動します。
- 2 PhotoshopのFile(ファイル)メニューからAcquire(入力用プラグ)を選択します。
- 3 Acquire(入力用プラグ)の中から「Sony DKC-5000...」メニューを選択します。
次のようなダイアログが表示されます。



このダイアログを画像リストパネルと呼びます。

ご注意

MEM-1～MEM-10が表示されるのはDKB-5000装着時です。装着されていない場合は、MEM-1～MEM-2だけの表示となります。

絞りを合わせる

Auto絞り機能のあるレンズのみコンピューターから絞りの調節ができます。その他のレンズを使う場合はカメラ側(レンズの絞りリング)で行ってください。

絞りの値は、VCL-712BXSを使用している場合、また、それ以外のレンズを使用している場合次のように変化します。

712BXS : CLOSE ~ F1.4 (0.2EVステップ)




Others : 0 ~ 51 (0 : CLOSE、 51 : OPEN)

ご注意

VCL-712BXSの場合は、F値に従って正確に絞りをコントロールしますが、それ以外のレンズでは、レンズによって特性がまちまちのため正確に動作しないことがありますのでご注意ください。ただし、オープンの状態から目標値までいきなり動作させる場合はこの心配はありません。

- 1 コントロールダイアログ左上のメニューで「絞り」を選択します。
- 2 左上のスライダーを左右にドラッグするか、+/-ボタンをクリックします。
スライダーの右の絞り表示が変化し、レンズの絞りもそれに伴って変わります。

撮影する

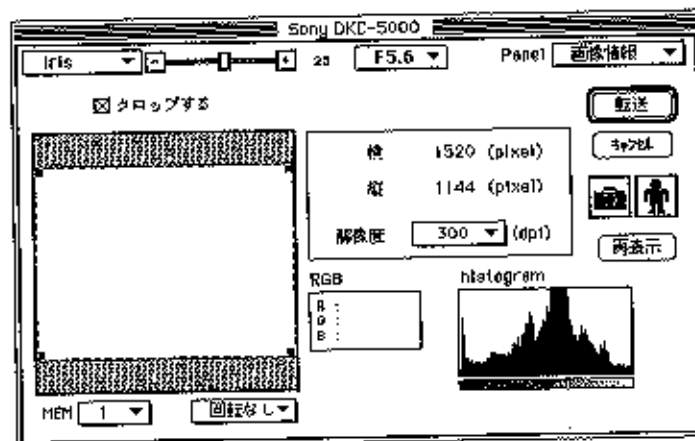
- 1 画像リストパネルを表示します。
- 2 画像を取り込むメモリーをクリックして選択します。
- 3  (スタンバイボタン) をクリックします。
 (STANDBYモード) になります。
- 4  (リリースボタン) をクリックします。
選択したメモリーに画像が取り込まれます。
コンピューターのモニター上の画像リストパネルに取り込まれた画像の縮小画が表示されます。

Photoshopに画像を転送する

- 1 画像リストパネルで転送したい画像が入っているメモリーを選択します。
1つのメモリーの画像だけを転送する場合：転送したいメモリーをクリックします。
複数のメモリーの画像を転送する場合：転送したいメモリーをクリックした後[マーク]ボタンをクリックする動作を転送したいメモリーごとに行います。
全部のメモリーの画像を転送する場合：マークの[全部]ボタンをクリックします。
- 2 [転送]ボタンをクリックします。
画像がPhotoshopに転送されます。

画像をク롭する

- 1 パネル選択メニューをプルダウンして画像情報パネルを選択します。



- 2 クロップするチェックボックスをクリックします。
縮小画表示ボックス内にク롭エリアが表示されます。
- 3 マウスでク롭エリアのサイズと位置を決めます。
マウスでク롭エリアの四隅を動かすことで、サイズを決めることができます。
ク롭エリアの内部をマウスでドラッグすることで、ク롭する位置を決めることができます。

フォトブルーフシステムとして使う

本システムをフォトブルーフシステムとして使うときは、デジタルプロセッサをフォトブルーフモードにして撮影します。ここでは、フォトブルーフシステムとしての使いかたを説明します。

制限

フォトブルーフモード時は次のような制限があります。

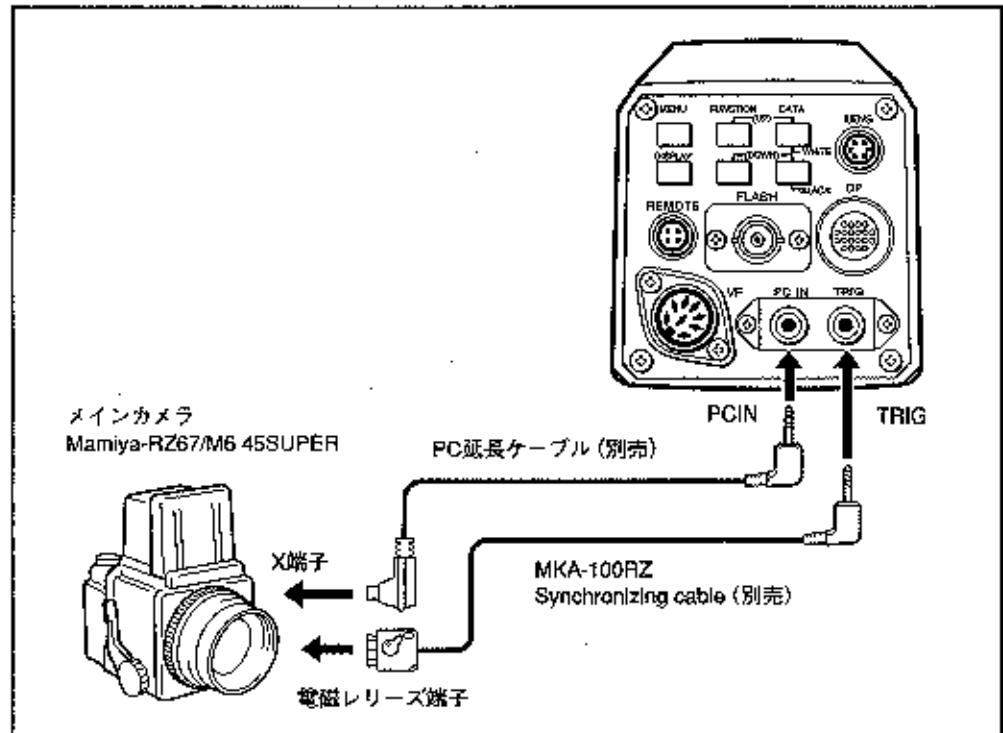
- ・FlashモードをOffにできない
- ・ReleaseモードをSingleにできない
- ・ReleaseモードのIris OpenをOffにできない

以上の制限は、RESETを実行しても解除されません。

電源を入れる前に

電源を入れる前に、次のことを行ってください。

- 1 デジタルプロセッサ-DIPスイッチの2番(フォトブルーフ)をONにします。(43ページ) デジタルプロセッサがフォトブルーフモードになります。
- 2 メインカメラとDKC-5000のカメラを接続します。



ご注意

メインカメラの取り扱いについては、メインカメラに付属の説明書をお読みください。

撮影する

撮影の手順は次のとおりです。

ご注意

初めて撮影する場合は、シャッターを切るタイミング(タイムラグ値)をデジタルプロセッサが学習するために手順1~4を実行しなければなりません。このあとでいつでも手順5を実行して撮影を開始できます。

手順1~4は最初に1度実行するだけです。ただし、使用するカメラを交換したときはもう1度手順2~4を実行する必要があります。

- 1 デジタルプロセッサの電源を入れます。
- 2 メインカメラのシャッターを動作する状態にします。
- 3 画面にPush [RELEASE]と表示されたのを確認します。

ご注意

この状態でカメラの設定変更はできません。
ホワイトバランスとブラックバランスの調整もできません。

- 4 RELEASEボタンを押します。
ビピッという音と共に画面にOKと表示されたのを確認します。

ご注意

- ・この場合、RELEASEモードで設定された動作はしません。メモリーへの画像の取り込みもしません。
- ・このときメインカメラには遮光板を入れるか、レンズキャップを取り付けておくと、フィルムを無駄にすることがありません。
- ・もし、“ビピビピビ (5回)”という音と共に「PC ERROR」と表示された場合は、メインカメラとの接続などを確認して、手順2からやり直してください。

- 5 通常と同じ方法で撮影してください。

ご注意

撮影中にエラーメッセージが表示されたら、次の表にしたがって操作してください。

エラーメッセージ	説明
PC ERROR	カメラのPC IN端子に信号が入力されませんでした。 メインカメラとの接続を確認してください。
SYNCHRO ERROR	メインカメラと同期して撮影できませんでした。 この場合は、学習したタイムラグ値をリセットします。メインカメラなどを点検してから、もう1度手順2からやり直してください。

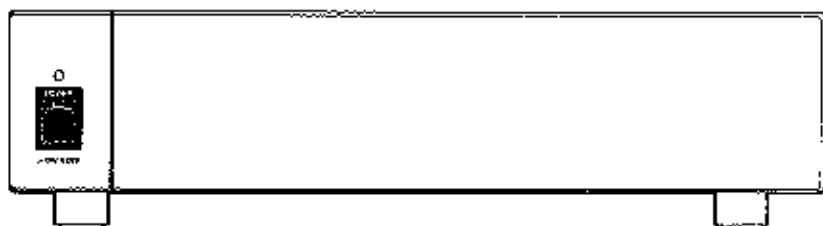
メインカメラを交換する場合

メインカメラを交換してもう1度タイムラグ値を測定したい場合は、カメラのメニューからRESETを実行します。すると、学習したタイムラグ値がリセットされるので、手順2からやり直すことができます。

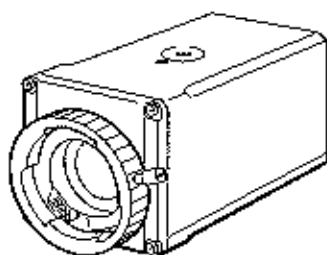
付属品を確認する

DKC-5000には以下のものが同梱されています。足りないものがないか確認してください。

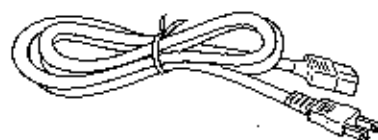
デジタルプロセッサ



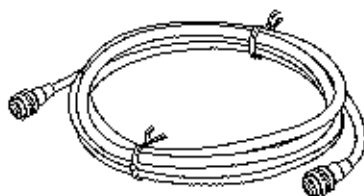
カメラヘッド



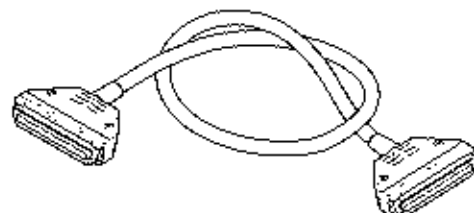
ACコード



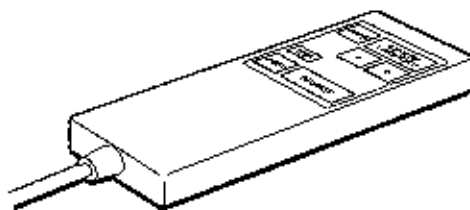
カメラケーブル



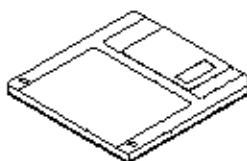
SCSIケーブル



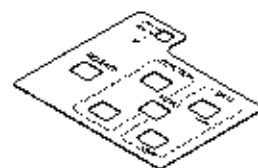
リモートコントローラRM-S72



3.5インチフロッピーディスク
DKC-5000プラグインモジュール



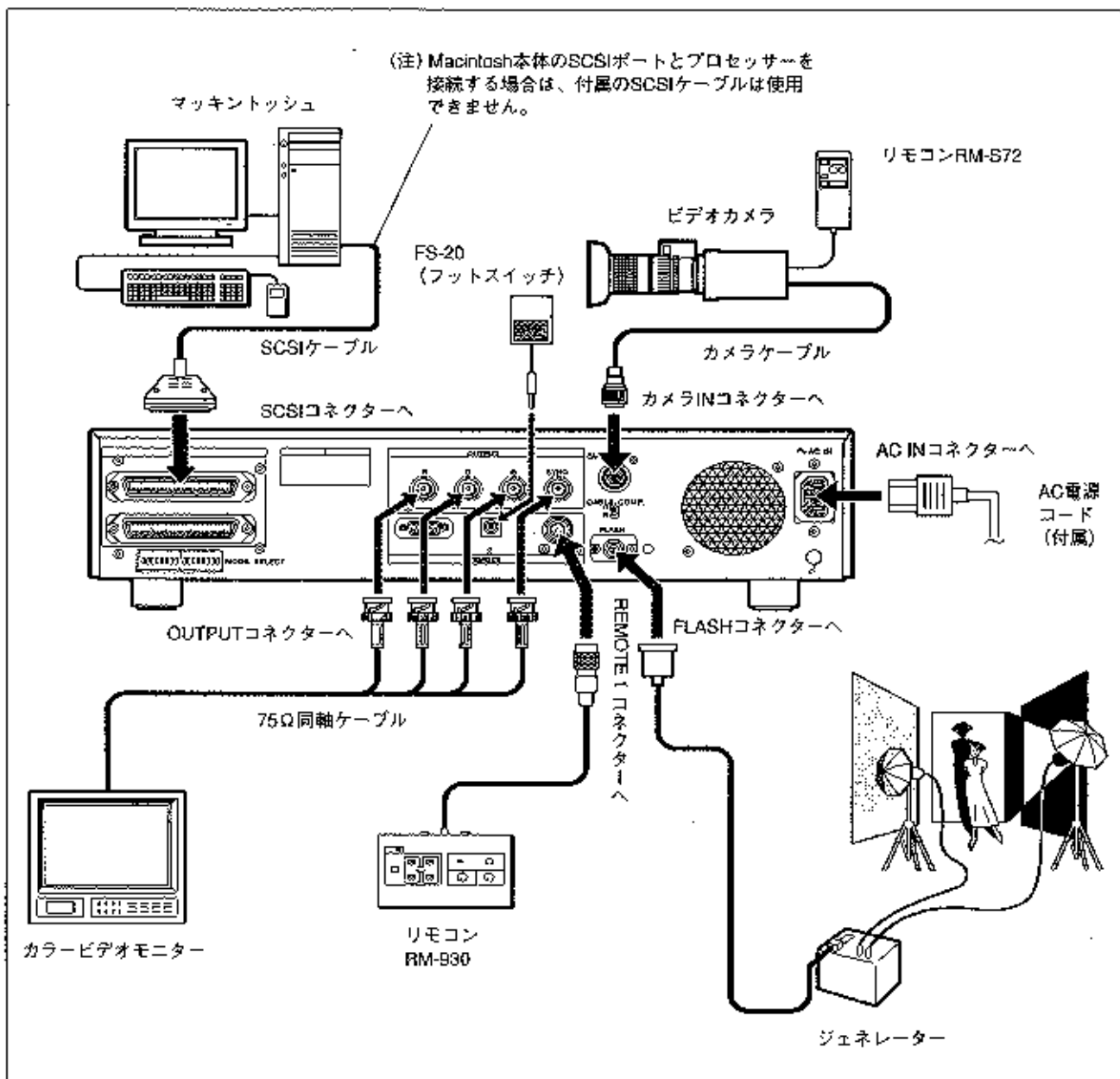
RM-930用テンプレート



システムとして使用するには、上記以外にレンズ、ビューファインダー、モニター、コンピューターなどが必要です。必要な機器は、使用目的によって異なります。

接続する

ここではシステムを構成する各機器の接続のしかたを説明します。すべての機器が必要なわけではありません。「主な使用例」(7ページ)をご覧ください。必要な機器のみを接続してください。



SCSI ケーブルの接続方法

ここでは、DKC-5000をSCSIケーブルでMacintoshに接続する方法を説明します。

ご注意

1台のMacintoshに7台までのSCSIデバイスをダイジーチェーン方式で接続できます。ケーブルの総延長は6mを超えてはいけません。

ケーブルについて

DKC-5000をMacintoshに接続するためのケーブルはMacintoshの販売店からお買い求めください。

すでに、使用しているSCSIチェーンにDKC-5000を接続する場合は、付属のSCSIケーブルを使用します。

ご注意

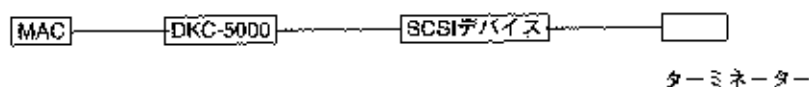
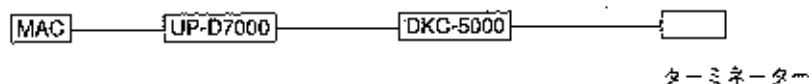
接続しようとするデバイスのSCSIコネクタがハーフピッチの場合は、ハーフピッチ50Pフルピッチ50Pのケーブルを別途お買い求めください。

ターミネーターについて

DKC-5000は高性能のSCSIアクティブターミネーターを内蔵しています。お手元にSCSI用ターミネーターがない場合はSCSI接続の末端に本機を接続してください。



外付けのSCSIターミネーターを本機に取り付けて使用する場合やSCSI接続の末端に本機を接続しない場合は、DIPスイッチの2番で内蔵ターミネーターをOFFにしてください。



ご注意

1系統のSCSI接続内で3個以上ターミネーターを使用しないでください。

SCSI IDについて

複数のSCSIデバイスをデジーチェーン方式で接続する場合は、それぞれのSCSIデバイスに別々のID番号(0-7)を設定します。DKC-5000のSCSI IDはDIPスイッチ1の6番～8番で設定します。DIPスイッチの設定については43ページを参照してください。

注意

ID番号7と0はMacintosh本体とMacintosh内蔵のハードディスクに割り当てられています。各デバイスに設定するID番号はSCSI接続内の物理的な接続順序とは関係ありません。

接続手順

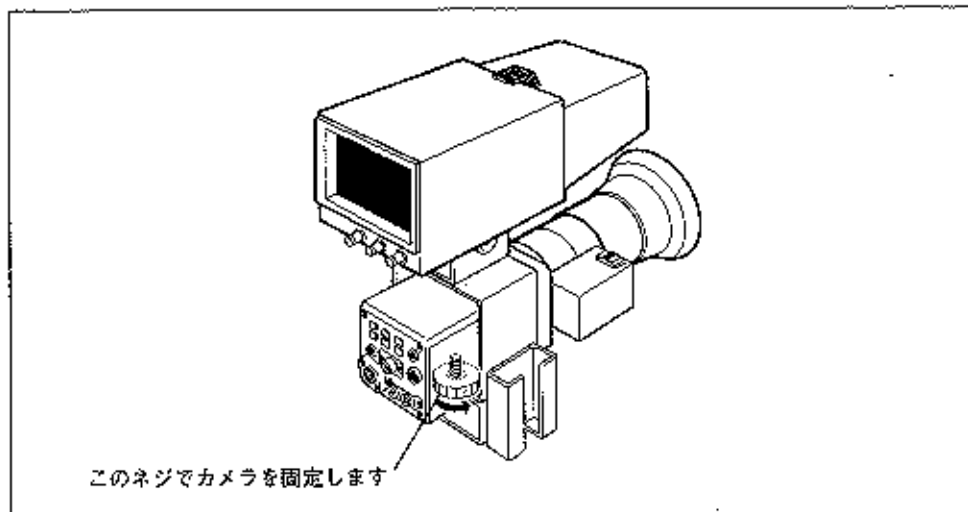
- 1** 接続するすべてのデバイスおよびMacintosh本体の電源を切ります。
- 2** 用意したSCSIケーブルのフルピッチ50PコネクタをDKC-5000のSCSIコネクタに差し込みます。クリップでコネクタを固定してください。
- 3** ケーブルのもう一方をMacintoshまたはSCSIデバイスのコネクタに接続します。コネクタのネジまたはクリップでコネクタを固定してください。

カメラを設置する

横長（ランドスケープ）の画像を撮る場合と縦長（ポートレート）の画像を撮る場合で、三脚アダプタメントへのカメラとビューファインダーの取り付け方法が異なります。

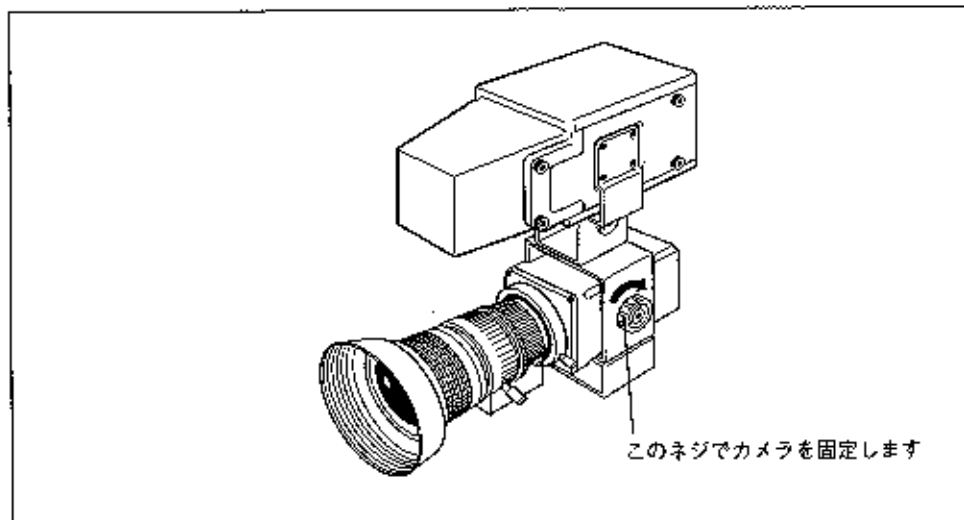
横長の場合

横長の画像を撮る場合は、次の図のようにカメラとビューファインダーを取り付けます。



縦長の場合

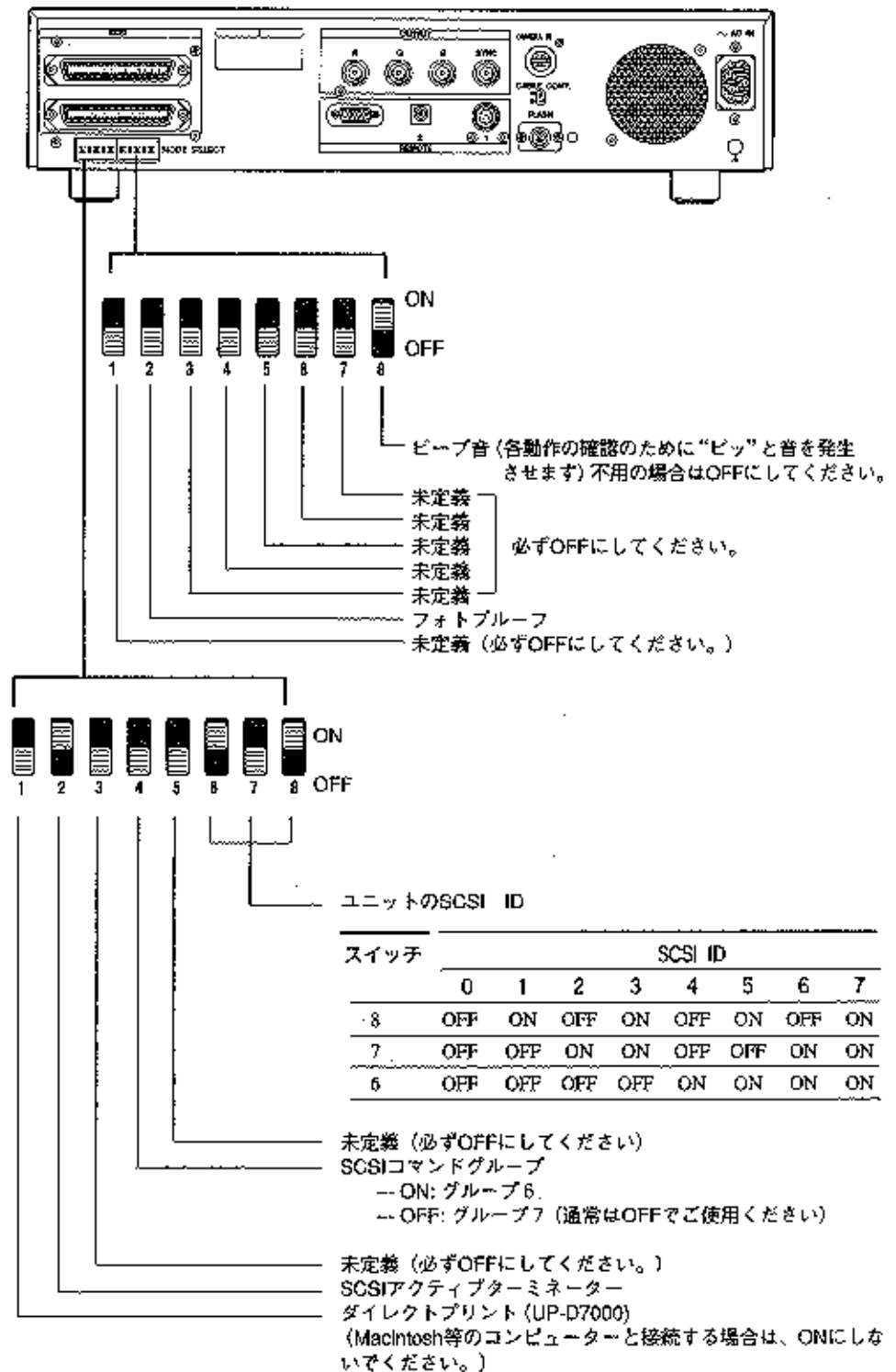
縦長の画像を撮る場合は、次の図のようにカメラとビューファインダーを取り付けます。



取り付け方法については三脚アダプターVCT-S20に付属の取扱説明書をご覧ください。

DIPスイッチの設定

デジタルプロセッサのリアパネルにDIPスイッチが2つあります。
各スイッチの機能は次のとおりです。



ご注意

DIPスイッチをセットする前に本体の電源を切ってください。

カメラの設定を変更する

色温度変換特性や電子シャッターのスピードなど、カメラの各種設定を変更するにはビューファインダーまたはモニターにメニューを表示して行います。メニューには通常メニューとSETUPメニューがあります。

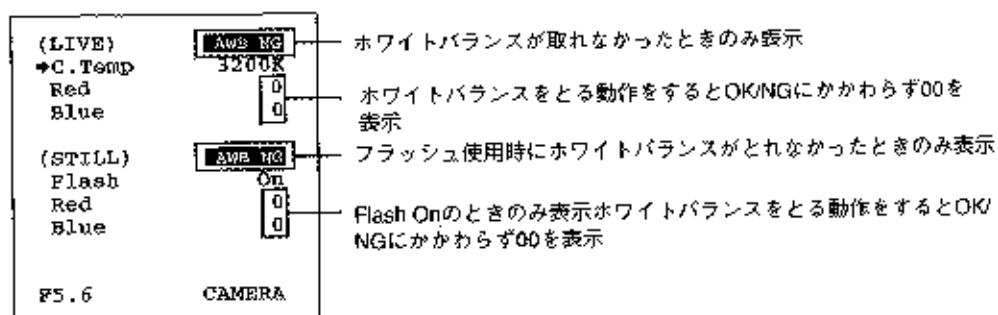
通常メニュー

通常メニューでは、カメラの色温度変換特性の設定、フラッシュを使うか使わないかの設定、およびREDとBLUEのゲインの設定を行います。

ご注意

- ・Flash Offの場合はSTILLモードのC.Temp、Red、Blueのゲインは、LIVEモードの設定と同じになります。
- ・Flash Onの場合はLIVEモードの設定とは独立して、STILLモードのRed、Blueのゲインの設定ができます。また、STILLモードのC.TempはLIVEモードのC.Tempの設定にかかわらず自動的に5600Kになります。

カメラ本体のMENUボタンを押すたびにビューファインダーとモニター上で通常メニューがON/OFFされます。



各項目の意味は次のとおりです。

- (LIVE): LIVEモードの設定であることを示します。
- (STILL): STILLモードの設定であることを示します。
- C.Temp: 色温度変換特性を示します。3200K/5600Kを設定します。
(3200K:タングステン光、5600K:太陽光、蛍光灯)
- Red: 赤のゲインを表示/設定します。後で述べる手順でホワイトバランスを設定すれば通常変更する必要はありません。
- Blue: 青のゲインを表示/設定します。後で述べる手順でホワイトバランスを設定すれば通常変更する必要はありません。
- Flash: フラッシュを使う場合はOn、使わない場合はOffに設定します。

ご注意

Photo Proof ModeがOnの場合はFlash Offが選択できません。

各項目の設定は以下の手順で行います。

1 設定項目を選びます。

カメラのFUNCTION UPボタンを押すと矢印が上に動きます。FUNCTION DOWNボタンを押すと矢印が下に動きます。矢印を設定したい項目に合わせます。設定できない項目には矢印は合わせられません。

2 値を設定します。

カメラ本体のDATA UP/DOWNボタンを押すと設定値が変わります。希望の値を表示させます。

3 必要な項目の設定が終わるまで手順1と2を繰り返します。

4 設定を終わります。

MENUボタンを押すとメニューが消え設定が終了します。

SETUPメニュー

メニューを表示していない状態でカメラ本体のMENUボタンを3秒以上押しつづけるとSETUPメニューが表示されます。

SETUPメニューにはSET画面が4つあります。どの画面からでもMENUボタンを押すとメニューは消えます。矢印が一番上の行の位置にあるときDATA UP/DOWNボタンを押すと前(次)のSETUP画面に変わります。

各項目の設定は次の手順で行います。

1 設定項目を選びます。

カメラのFUNCTION UPボタンを押すと矢印が上に動きます。FUNCTION DOWNボタンを押すと矢印が下に動きます。矢印を設定したい項目に合わせます。ただし、設定できない項目には矢印は合わせられません。

2 値を設定します。

カメラ本体のDATA UP/DOWNボタンを押すと設定値が変わります。希望の値を表示させます。

3 必要な項目の設定が終わるまで手順1と2を繰り返します。

4 設定を終わります。

MENUボタンを押すとメニューが消え設定が終了します。

SETUP-CAMERA

CAMERAモードとISOのシャッタースピードを表示/設定するメニューです。

[CAMERA]	
(LIVE)	
ISO	Auto
Shutter	Auto
(STILL)	
ISO	100
Shutter	1/25
(Flash On)	
F2.8+0.2EV	STD-BX

(LIVE): LIVEモードの設定であることを示します。

(STILL): STILLモードの設定であることを示します。

ISO: カメラのISO感度を設定します。設定値は100、200、400、800(相当)またはAuto(LIVEモードのみ)。フラッシュ撮影時に露出計をご使用のときは、カメラの感度設定を確認後、絞りを決めてください。なお、この値は、撮影条件により、多少変わる場合がありますので、必ず事前に露出計で確認することをお奨めします。

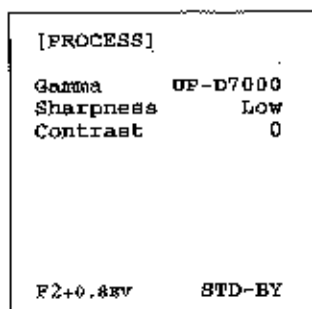
Shutter: カメラの電子シャッターのスピードを設定します。設定値は(LIVE)で1/25から1/10000の数値またはAuto、(STILL)でFlash Offのとき4秒~1/10000。通常メニューでFlashがOnのとき1/25に固定。

ご注意

- ・ STILLモードのShutterの値が1/15~4秒になっているときはRELEASEボタンを押してから画像が取り込まれるまでに設定値の約2倍の時間がかかることがあります。
- ・ STILLモードのシャッタースピードが1秒以上の場合はRELEASEボタンを押すと画面に「WAIT」と表示されます。
- ・ STILLモードのシャッタースピードが1/15秒以上の場合は、メモリーに取り込まれた画像にノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。

SETUP-PROCESS

デジタルプロセッサの特性とカメラのW.ClipのON/OFFを設定するメニューです。



Gamma: ガンマ補正値を設定します。設定値は以下の6種類です。

UP-D7000: UP-D7000に適した値

ON: モニターに適した値

OFF: リニアな特性

USER 1: ユーザーが定義した値

USER 2: ユーザーが定義した値

USER 3: ユーザーが定義した値

コンピューターから設定。

工場出荷時はONと同じ値になっています。

ご注意

- ・UP-D7000モードは白から黒までほぼ均一に表現できるUP-D7000に最適の設定です。また、ONモードはよりはっきりした画にしたいときに使います。
 - ・OFFは、印刷機器などへの接続を考慮に入れた設定です。USER1~3はONモードを基本に、ユーザーがオリジナルのガンマ補正値を設定できます。
- (54ページ)

Sharpness: 輪郭強調の度合を設定します。設定値はOff、Low、Mid、Highの4種類です。

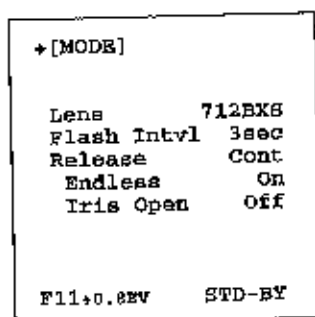
ご注意

- ・MACやUP-D7000に画像データを転送中はsharpnessの変更ができません。
- ・高精細化処理時の設定なので、この設定値を変えても、モニターの画面は何も変化しません。

Contrast: 画像のコントラストを設定します。設定値は-127から+127です。大きいほどコントラストが強くなります。

SETUP-MODE

その他の設定を行うメニューです。



Singleを選択すると、この2つの表示は消えます。

Lens: 専用レンズかその他のレンズかを設定します。設定値は712BXSまたはOthersです。

絞りの値は、VCL-712BXSを使用している場合、また、それ以外のレンズを使用している場合で次のように変化します。

712BXS: CLOSE~F1.4 (0.2EVステップ)

他のレンズ: 0~51 (0:CLOSE、51:OPEN)

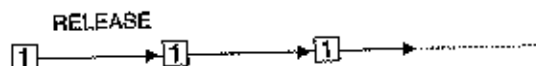
Flash Intvl: フラッシュ使用時のオートホワイトバランスを取るときにフラッシュの発光間隔(秒)を設定します。設定値は3s/5s/7s/10sです。ご使用のフラッシュのチャージ時間によって適当な値に設定します。

ご注意

フラッシュのチャージ時間よりも設定値が短いと自動調整がうまく働きません。

Release: RELEASEボタンを押した後自動的にメモリーを切り替えるかどうかを設定します。

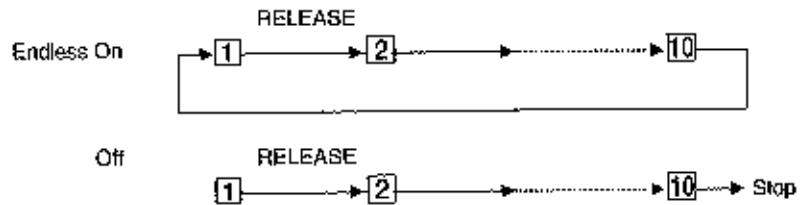
Single: RELEASEボタンを押すと現在選択中のメモリーに画像が取り込まれます。選択中のメモリーは変わりません。したがってRELEASEボタンを押すたびに新しい画像がメモリーに取り込まれ、前の画像は消えてしまいます。



ご注意

Photo Proof ModeがOnの場合にはSingleが選択できません。

Cont: RELEASEボタンを押すと現在選択中のメモリーに画像が取り込まれた後、選択中のメモリーは1つ上の番号のものになります。したがって、RELEASEボタンを押すたびに新しい画像が新しいメモリーに取り込まれます。最大番号のメモリーが選択されているときは次のEndlessの設定によって動作が異なります。



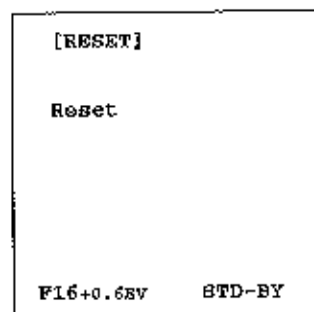
- Endless:** メモリーの切り換え方法を設定します。
- On:** メモリーがサイクリックに切り換わります。すなわち、撮影のためにRELEASEボタンを押したとき、メモリー 2 (DKB-5008装着時はメモリー10) の次はメモリー1が選択されます。
- Off:** メモリー番号が最大値になったあとは切り換わりません。すなわち、メモリー 2 (DKB-5008装着時はメモリー10) が選択されている状態でRELEASEボタンや+ボタンを押してもメモリー1は選択されません。最後のメモリーに画像を取り込むと“ピー”と音がして画面に「End of Mem」と表示されます。
- Iris Open:** Contの状態ではRELEASEボタンを押したあとの状態を選択します。
- On:** Contの状態ではRELEASEボタンを押して次の状態に移るまで、CAMERAモードで待機させたい場合はOnにします。(毎回画角等をモニターまたはビューファインダーで確認する場合は便利です。)
- Off:** Contの状態ではRELEASEボタンを押して次の状態に移るまでSTANDBYモードで待機させたい場合はOffにします。RELEASEタイミングを重視する場合便利です。

ご注意

Photo Proof ModeがOnの場合はIris Open はOffにできません。

SETUP-RESET

各設定を初期値(工場出荷時の設定)に戻すためのメニューです。



Reset: カーソルをResetに合わせ、DATA UP/DOWNボタンを押すと各設定は初期値に設定されます。

初期値は次のとおりです。

- 表示モード: CAMERA
- Focus: 中心
- ズーム: WIDE側
- Iris: F5.6

カメラの設定を変更する(つづき)

・通常メニュー

(LIVE) { C.TEMP: 3200K
 Red: 0
 Blue: 0

(STILL) { Flash: On
 Red: 0
 Blue: 0

・SETUPメニュー

(CAMERA)

(LIVE) ISO: AUTO
 Shutter: AUTO

(STILL) ISO: 100
 Shutter: 1/25

(PROCESS) Gamma: UP-D7000
 Sharpness Low
 Contrast: 0

(MODE) Lens: VCL-712BXS
 Flash Intvl: 3 sec
 Release: Single

注意

ただしPhoto ProofがOnの場合は

Cont

Endless: Off

Iris Open: On

(PRINT) Layout: Full

ソフトウェアを使う

DKC-5000に付属のPhotoshop用プラグインモジュールには、次の4つのコントロールパネルが用意されています。

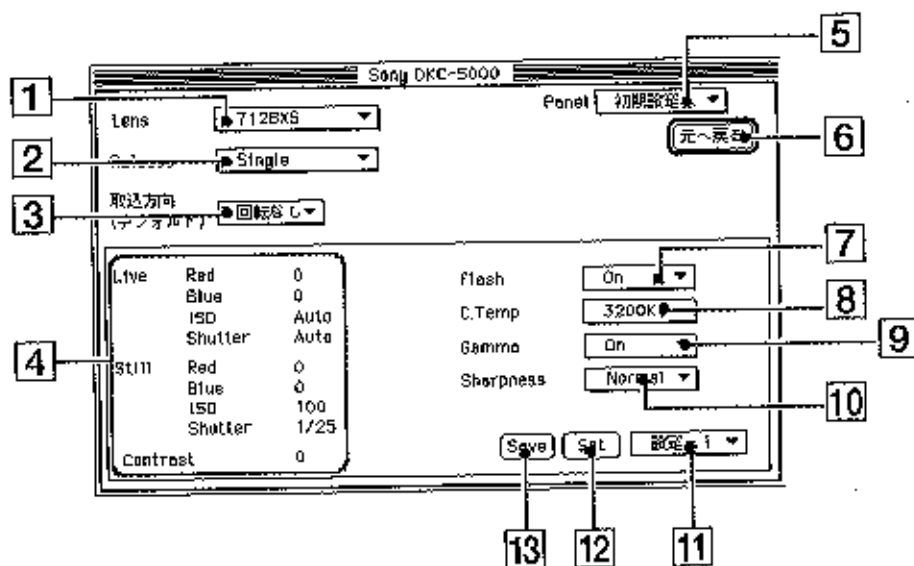
- ・初期設定パネル
カメラおよびデジタルプロセッサを制御するパラメーターの初期設定を行います。
- ・テーブル設定パネル
デジタルプロセッサのロックアップテーブル(カメラ用/モニター用)の設定を行います。
- ・画像情報パネル
フレームメモリーの情報表示とクロップエリアの設定を行います。また画像データをPhotoshopへ転送します。
- ・画像リストパネル
複数のメモリーの縮小画を同時に表示します。また、複数の画像をPhotoshopに転送します。

コントロールパネル間の切り換えは、右上のPanelメニューで行います。次に、各パネルのメニューやボタンの機能を説明します。

各パネルの機能

初期設定パネル

Panelメニューで初期設定を選択すると次のパネルが表示されます。



各メニューおよびボタンの機能は次のとおりです。

1 Lensメニュー

レンズの種類を選択します。

712BXS/Othersが選択できます。カメラのSET UP MODEメニューのLensと同じです。

2 Releaseメニュー

リモコン使用時の撮影モードを設定します。

3 取込方向(デフォルト)メニュー

画像の取り込み方向のデフォルト値を選択します。

4 パラメーター表示ボックス

カメラの制御パラメーターの値を表示します。

5 Panelメニュー

コントロールパネルの種類を選択します。

6 [元へ戻る]ボタン

元のパネルに戻ります。

7 Flashメニュー

フラッシュのON/OFFを選択します。カメラの通常メニューのFlashと同じです。

8 C.Tempメニュー

ライブ表示時の色温度を選択します。カメラの通常メニューのC.Tempと同じです。
5600K/3200Kが選択できます。

9 Gammaメニュー

Gammaテーブルを選択します。カメラのSET UP-PROCESSメニューのGammaと同じです。
UP-D7000/ON/OFF/USER 1/USER 2/USER 3が選択できます。

UP-D7000:	UP-D7000に適した値	USER1:	ユーザーが定義した値
ON:	モニターに適した値	USER2:	ユーザーが定義した値
OFF:	リニアな特性	USER3:	ユーザーが定義した値

10 Sharpnessメニュー

Sharpnessの強さを選択します。カメラのSET UP-PROCESSメニューのSharpnessと同じです。

11 パラメータ設定メニュー

カメラ制御パラメーターの設定番号を選択します。設定1から5までが選択できます。

12 Setボタン

パラメーター設定メニューで選択した設定値を本体に設定します。

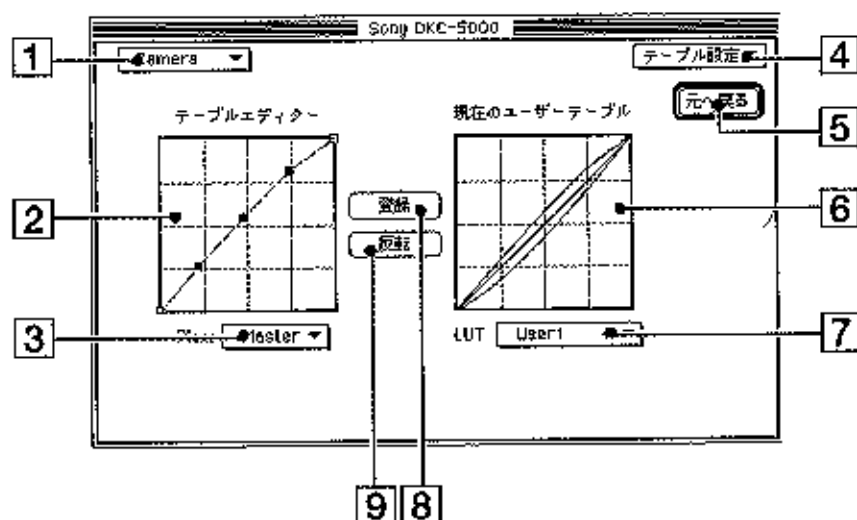
13 Saveボタン

DKC-5000本体のカメラ制御パラメーターを保存できます。

「パラメーター設定メニュー」で選択できる1から5までの5種類のパラメーターが保存できます。

テーブル設定パネル

Panelメニューでテーブル設定を選択すると次のパネルが表示されます。



各メニューおよびボタンの機能は次のとおりです。

1 Camera/Monitorメニュー

ルックアップテーブル(LUT)の種類を選択します。

Camera (入力) / Monitor (出力) が選択できます。

入力(Camera)出力(Monitor)のLUTの組み合わせは次の6通りに固定されます。

LUT	入力	出力
Gamma	(Camera)	(Monitor)
UP-D7000	固定	固定
ON	固定	固定
OFF	固定	固定
User1	任意	任意
User2	任意	任意
User3	任意	任意

LUTには、入力 (Camera) と出力 (Monitor) の2つがあります。入力はカメラからの入力信号の階調を整えるため、出力はモニターの色調をプリントアウトやMacintosh用モニターと合わせるために使用します。

User1~3はMacintoshよりユーザーの好みのカーブを入力と出力と別々に設定することができます。

工場出荷時にはUser1~3にはGamma:ONと同じカーブが記録されています。この設定は電源をOFFしても記憶されており、約10年間保持され約1万回書き換えが可能です。

(「ブロック図」64ページ)

2 LUTエディター

5点のポイントをマウスで動かすことにより任意のカーブを作成します。

3 Planeメニュー

LUTのプレーンを指定します。

Master/R/G/Bが選択できます。Masterを指定すると、R/G/Bが同じカーブになります。

4 Panelメニュー

コントロールパネルの種類を選択します。

5 [元へ戻る]ボタン

元のパネルに戻ります。

6 LUT表示ボックス

LUTメニューで選択されたユーザー定義テーブルの内容を表示します。

7 テーブル設定メニュー

ユーザー定義テーブルを選択します。User1/User2/User3が選択できます。

8 [登録]ボタン

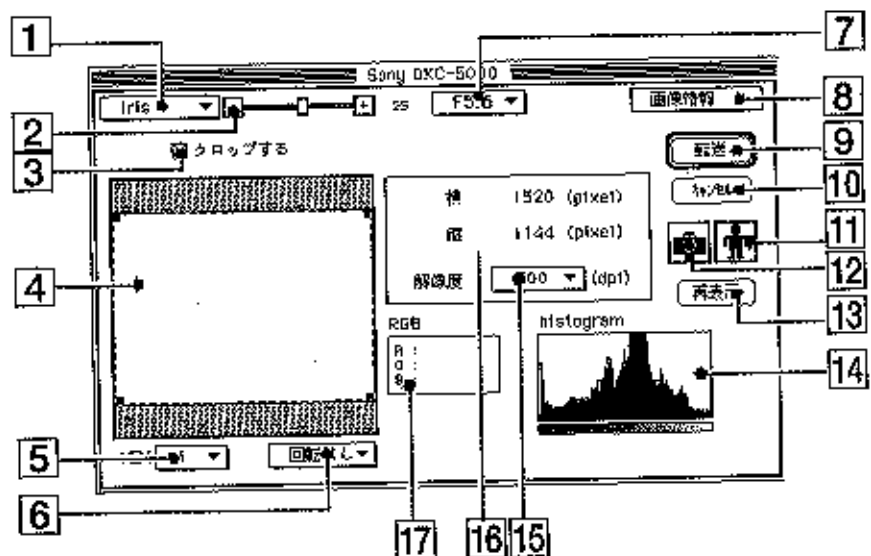
LUTエディターのカーブをLUTメニューで選択されたユーザー定義テーブルに登録します。

9 [反転]ボタン

LUTメニューで選択されたユーザー定義テーブルを反転して登録します。

画像情報パネル

Panelメニューで画像情報を選択すると次のパネルが表示されます。



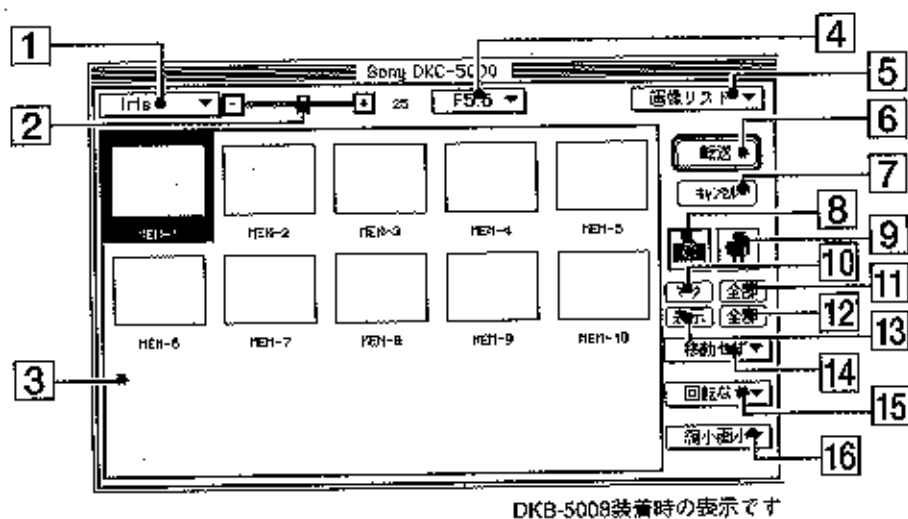
各メニューおよびボタンの機能は次のとおりです。

- 1** カメラコントロールメニュー
カメラコントロールバーで制御するカメラコントロールの種類を選択します。
- 2** カメラコントロールバー
カメラの各種コントロールの値を選択します。
- 3** [クロップする]チェックボックス
クロップ機能をON/OFFします。
- 4** 縮小画表示ボックス
選択されているメモリーの内容を表示します。
縮小画の上にマウスカーソルを置くとRGB値表示ボックスに値が表示されます。
クロップ機能がONのときには、クロップエリアが表示され、マウスでサイズと位置が選択できます。
- 5** メモリー選択メニュー
選択するメモリーの番号を選択します。
- 6** 方向選択メニュー
画像の方向を選択します。回転なし/右回転/左回転が選択できます。
- 7** 絞りメニュー
カメラの絞り値(f値)を選択します。DKC-5000標準レンズVCL-712BXS使用時のみ有効です。

- 8** Panelメニュー
コントロールパネルの種類を選択します。
- 9** [転送]ボタン
Photoshopへの画像データの転送を開始します。MEMメニューで選択されている画像のみが転送されます。
- 10** [キャンセル]ボタン
入力モジュールの実行をキャンセルします。
- 11** モニターボタン
モニターの表示モード(CAMERA/STANDBY)を切り換えます。
- 12** 撮影ボタン
選択されているメモリーに画像を取り込みます。カメラのRELEASEボタンと同じ機能です。
- 13** [再表示]ボタン
縮小画を再表示させます。
- 14** ヒストグラム表示ボックス
選択されているメモリーのヒストグラムを表示します。
- 15** 解像度メニュー
解像度(dpi)を選択します。
- 16** 画像サイズ表示ボックス
画像サイズを表示します。
- 17** RGB値表示ボックス
縮小画のマウスカーソル位置のRGB値を表示します。(フルカラー表示のときのみ有効)

画像リストパネル

Panelメニューで画像リストを選択すると次のパネルが表示されます。



DKB-5008装着時の表示です

各メニューおよびボタンの機能は次のとおりです。

- 1** カメラコントロールメニュー
カメラコントロールバーで制御するカメラコントロールの種類を選択します。
- 2** カメラコントロールバー
カメラの各種コントロールの値を指定します。
- 3** 画像リスト
メモリーの内容を縮小画で表示します。
縮小画をクリックすることによりメモリーの選択ができます。
- 4** 絞りメニュー
カメラの絞り値(f値)を選択します。DKC-5000標準レンズVCL-712BXS使用時のみ有効です。
- 5** Panelメニュー
コントロールパネルの種類を選択します。
- 6** [転送]ボタン
Photoshopへの画像データの転送を開始します。マークされた画像がある場合は、そのすべてを転送します。
- 7** [キャンセル]ボタン
入力モジュールの実行をキャンセルします。

8 撮影ボタン

選択されているメモリーに画像を取り込みます。取り込んでも選択中のメモリーは変わりません (Single動作)。初期設定画面のReleaseメニューとは同期しません。

9 モニターボタン

モニターの表示モードを切り換えます。
CAMERA/STANDBYのモードに切り換えることができます。

10 [マーク]ボタン

転送する画像をマークします。

11 マーク[全部]ボタン

すべての画像をマークします。

12 表示[全部]ボタン

すべてのフレームメモリーの画像を再表示します。

13 [表示]ボタン

選択されたメモリーの画像を再表示します。

14 メモリー選択メニュー

撮影時のメモリー移動を選択します。移動せず/移動するが選択できます。[移動する]を選択すると撮影ボタンで画像を取り込んだ後、次のメモリーに移動します。

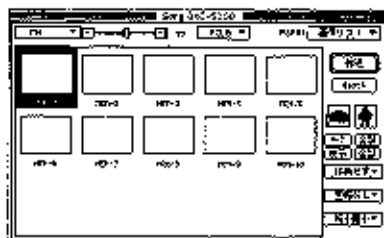
15 方向選択メニュー

画像の表示方向を選択します。回転なし/右回転/左回転が選択できます。

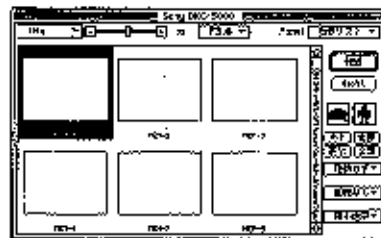
16 縮小画選択メニュー

縮小画の大きさを選択します。縮小画小/縮小画中/縮小画大が選択できます。

縮小画小



縮小画中



縮小画大



使用上のご注意

安全にお使いいただくために

- ・機器内部に液体や燃えやすいものや金属類を落とさないでください。故障や事故の原因になります。
- ・長時間使わないときは、機器の電源コードをコンセントから抜いておいてください。電源コードを抜くときは、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。
- ・電源コードの上に重いものをのせたり落としたりして、コードに傷をつけないようにご注意ください。傷がついたまま使うと危険です。

設置上のご注意

通風孔をふさがないでください。

内部温度上昇を防ぐため、機器を使用中に布などで包んだり、空気の流通の悪い場所に置いたりしないでください。また、底面の通風孔をふさぐので、機器類を敷物などの柔らかいものの上には置かないでください。

次のような場所には本システムを設置しないでください。

- ・極端に暑い所や寒い所
- ・直射日光が長時間当たる所や暖房機の近く
- ・湿気の多い所
- ・ほこりの多い所
- ・激しい振動の多い所
- ・傾いた場所

電子機器のそばは避けてください。

他の電子機器や強い磁気を発生する機器の近くに本システムを設置しないでください。電磁気の影響を受けて誤動作することがあります。

接続時は

コネクタをしっかりと差し込んでください。接続がゆるいと誤動作の原因になります。

使用後は

エネルギーの節約と、機器類を長くお使いいただくために、電源を切ってください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を少し含ませた布でふきとってから、乾いた布でカラぶきしてください。アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えることがありますので、使用しないでください。

輸送のときは

付属のカートンまたは同等品で梱包し、衝撃を与えないようにしてください。

主な仕様

DKC-5000 (カメラ)

撮像素子	1/2インチ、44万画素CCD	電源電圧	DC12V
有効画素数	795 (H) × 598 (V)	消費電力	5.0W
空間画素ずらし	水平 (H) / 垂直 (V) 方向	使用温度	5~35℃
撮像方式	3板式	保存温度	-20~60℃
レンズマウント	1/2" 38ピコネットマウント	外形寸法	70×72×123.5mm
ISO	LIVE時: AUTO、100、200、400、800 相当 STILL時: 100、200、400、800 相当	質量	約620g
ホワイトバランス	AUTO (FLASH ON/OFF) MANUAL (R、B GAIN-127~+127)		
電子シャッター	LIVE時: AUTO、1/25、1/50、 1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、 1/2000、1/4000、1/10000 STILL時: 4"、2"、1"、1/2、1/4、1/8、 1/15、1/25、1/50、1/120、 1/125、1/250、1/500、1/1000、 1/2000、1/4000、1/10000		
GAMMA	UP-D7000、ON、OFF、USER 1、 USER 2、USER 3		
CONTRAST	-127~+127		
入出力端子	カメラコネクター: 20pinコネクター アナログRGB (斜め画素ずらし信号) SYNC 2.0Vpp 75Ω (不平衡) レンズコネクター: 6 Pin リモコンコネクター: 4 Pin VF用コネクター: DIN 8 Pinコネクター FLASHタイミング: X接点 (端末電圧: 400V以下) PCINコネクター: ミニジャック TRIGコネクター: ステレオミニジャック		

DKC-5000 (デジタルプロセッサ)

入力A/D

量子化テーブル 各10bit (RGB)

LUT : UP-D7000、ON、OFF
USER 1、2、3

出力LUT 各8 bit (RGB)

メモリー

画像メモリーサイズ

738 (H) × 576 (V) × 3 (RGB) × 8 (bit)

標準メモリー数 2 画面

増設メモリーボード (DKB-5008)

8 画面

外部I/F

SCSI SCSI-2 規格 (不平衡型)

転送方式 非同期転送のみ

データバス幅 8 bit

データ形式 RAWデータ

R、G、B点順次

画像サイズ 1520 × 1144 × 3 (5.2Mbyte)

入力

カメラコネクター

20pinコネクター

アナログRGB (斜め画素ずらし信号)

0.7Vpp 75Ω (不平衡)

SYNC

2.0Vpp 75Ω (不平衡)

出力

FLASHコネクター

X接点 (端末電圧: 400V以下)

REMOTE1 12pinマルチコネクター

REMOTE2 MINIジャック

SCSIコネクター (SCSI LOOP THROUGH)

AMPHENOL 50PIN × 2

REMOTE3 D-SUB 9pin

アナログRGB BNCコネクター

アナログRGB

0.7Vpp 75Ω (不平衡)

SYNC

4Vpp 75Ω (不平衡)

(注) 斜め画素ズラシ信号がそのまま出力されます。

その他

カメラケーブル長補正

10m/25m

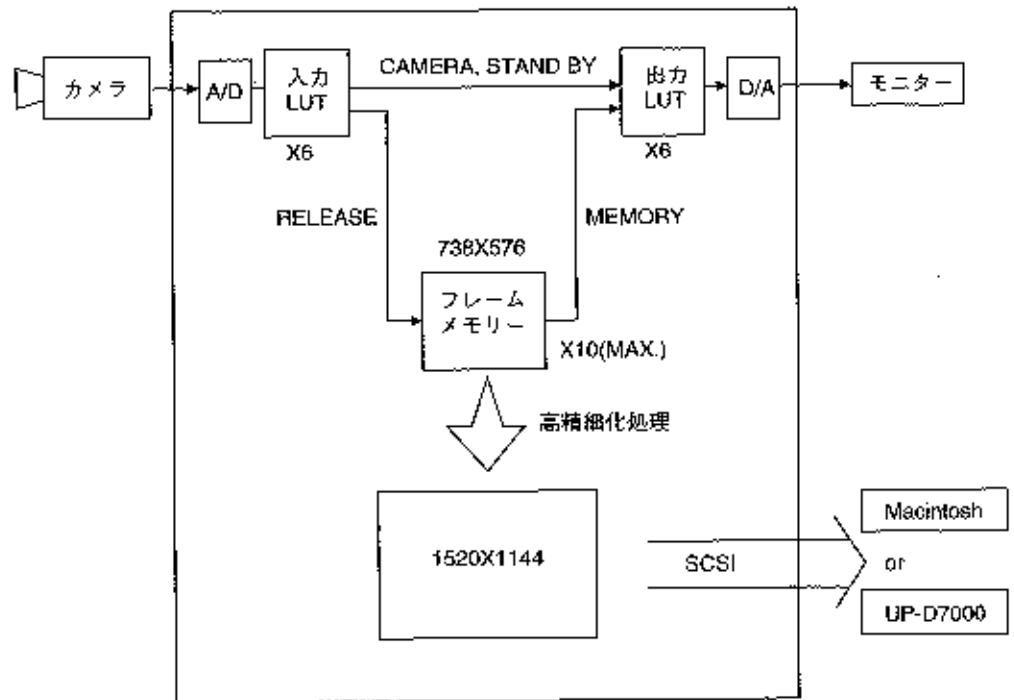
電源電圧 100V (50Hz/60Hz)

消費電流 1.2A

外形寸法 423 (W) × 356.5 (D) × 105.5 (H) mm

質量 9kg

ブロック図 (デジタルプロセッサ)



保証書とアフターサービス

保証書

- ・このシステムの保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

担当のセールスマンまたは、お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー特機営業所にお問い合わせください。

メッセージ

通常のメッセージおよびエラーメッセージの意味は次のとおりです。

メッセージ	意味/対処
メモリーに関するメッセージ	
End of Mem	RELEASEモードがContでEndlessがOffのときに最後のメモリーまで撮影が終了したことを示しています。これ以上撮影できません。
No Free Mem	RELEASEモードがContのときに、画像を取り込む準備のできているメモリーが見つかりませんでした。 RELEASEモードのEndlessがOnの場合は、すべてのメモリーに×印が付いています。 RELEASEモードのEndlessがOffの場合は、最後に画像を取り込んだメモリー以降にすべて×印が付いています。
Protected	モード表示でメモリー番号の横に×印が付いているメモリーに画像を取り込もうとしました。他のメモリーに取り込んでください。
プリントに関するメッセージ	
Printer Not Found	UP-D7000が見つかりませんでした。UP-D7000の電源はONか、SCSIの接続は正しいか確認してください。(40ページ)
Printer Not Ready	Readyを表示中のUP-D7000がありませんでした。印刷中でない場合は、用紙やリボンが切れていないか確認してください。
Printer Error	UP-D7000ヘデータを転送中にエラーが発生しました。UP-D7000の電源を一度OFFにしてください。
Empty Mem	画像が取り込まれていないメモリーをプリントしようとしています。
フォトプルーフに関するメッセージ	
Push [RELEASE]	Photo ProofモードがOnのときに、タイムラグ値が設定されていないか、値がリセットされた場合に表示されます。RELEASEボタンを押してタイムラグ値を学習させてください。(36ページ)
OK	タイムラグ値を正常に学習しました。
PC ERROR	PC INコネクタに信号が入力されませんでした。メインカメラとの接続を確認してください。(35ページ)
SYNCHRO ERROR	メインカメラとシンクロして撮影できませんでした。メインカメラの状態を確認してください。
自己診断に関するメッセージ	
SELF TEST	SELFTESTを実行中です。終了までお待ちください。 (SELF TESTはSCSIコマンドを使用しないと実行できません。)
OK	異常が検出されませんでした。
NG	異常を検出しました。
その他のメッセージ	
WAIT	時間のかかる処理を実行中です。終了までお待ちください。
NO SYNC	カメラから同期信号が来ていません。カメラとの接続を確認してください。(35、39ページ)
Remote	RM-930のCAMERA/REMOTEスイッチがREMOTEになっています。カメラ側のボタンで操作するには、CAMERA/REMOTEスイッチをCAMERAにするか(73ページ)、RM-930の接続をはずしてください。

故障とお考えになる前に

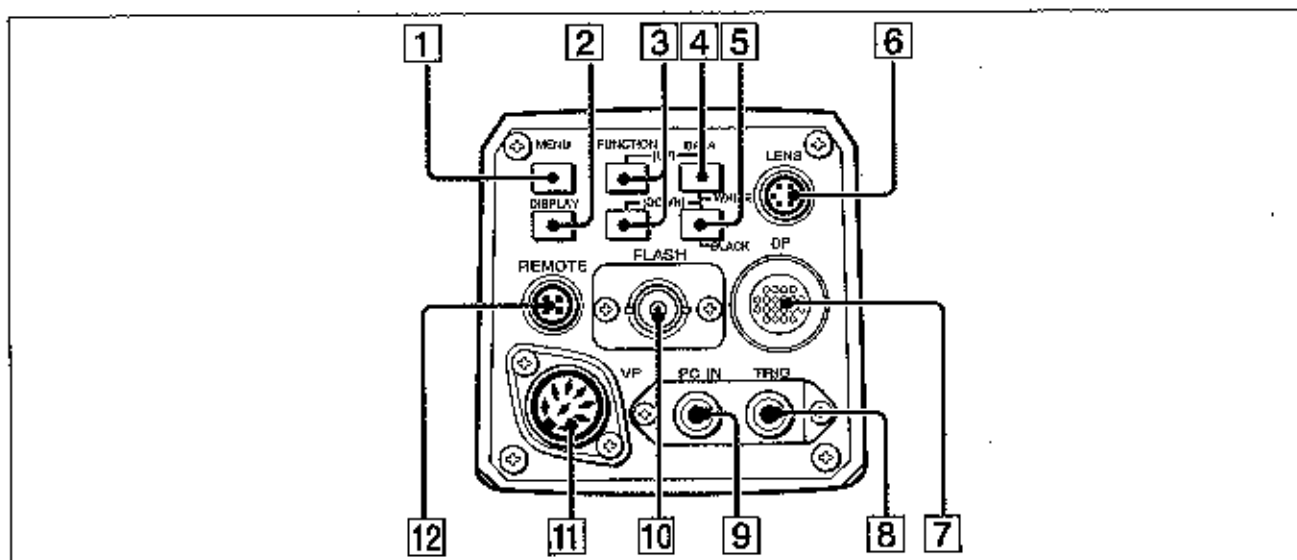
本機をご使用になっているときに、故障かな?と思ったら、次のことを確認してみてください。問題を解決できない場合や何度も同じことが起きる場合は、もよりのソニー特機営業所にご連絡ください。

症状	原因/対策
電源が入らない。	電源ケーブルがきちんと接続されていますか? (39ページ)
RM-S72のボタンが効かない。	ケーブルが正しく接続されていますか? (39、68ページ)
取り込んだ画像がブレる。	動きの速い画像を取り込むとブレることがあります。故障ではありません。
カメラからの画像が鮮明でない。	CABLE COMPスイッチが正しい位置になっていますか? (70ページ)
カメラの設定を変更してもモニターに表示している画像が変化しない。	メモリーに取り込んだ画像を表示していませんか?
PRINTキーを押してもPRINTメニューが表示されない。	・表示モードはMEMORYモードですか? ・すでにプリントを開始していませんか? ・DIPスイッチの設定は正しいですか?
IRISの設定値を変更してもレンズが動作しない。	・表示モードはSTAND BYモードですか? ・レンズの絞りのスイッチはAutoになっていますか?
メモリーの画像をコンピューターに取り込んで表示させると、階調がモニターに表示されているものといちじるしく異なる。	Gammaの設定はOnですか? それ以外の場合はメモリーの画像がモニターに表示されたときに最適な階調を持つようにモニターのLUTを調整しています。したがってメモリーの画像データはモニターに表示されているものと同じ階調をしているとは限りません。
メモリーに取り込んだ画像をモニターで見たときの階調がおかしい。	撮影をした後でGammaの設定を変更しませんでしたか? 上記と同じ理由により、撮影時に使用したGammaの設定と現在のGammaの設定が異なると、メモリーの画像はモニター上で正しく表示されません。
Flash Onモードで撮影すると、メモリーに画像を取り込むときに画像が一瞬ちらつく。	故障ではありません。
蛍光灯下でLIVE画の色温度が変化することがある。	故障ではありません。 周期的に明るさの変化している蛍光灯の光に対して電子シャッターが反応するため、故障ではありません。 フラッシュを利用する場合、撮影には問題ありませんがフラッシュOFFで撮影する場合はできるだけタングステン光下でご利用ください。
設定を変更してもコンピューターに取り込んだ画像のデータのダイナミックレンジが0~255の範囲いっぱいにならない。	A/D変換回路の仕様上、実際のダイナミックレンジは0~255よりもわずかに狭くなります。
メモリーの画像データを一部分ずつクロッピングしてコンピューターに取り込みコンピューター上で合成して元の画像データに還元しようとしたが、正しい画像にならない。	高精細化処理の関係で少しずつ切り取った画像データを1枚に合成しようとしても、ドットがずれていたりしてうまくいきません。

各部の名称とはたらき

カメラ

後面



① MENUボタン

条件設定用のメニュー（通常メニューとSET UPメニュー）をモニターおよびビューファインダー上に表示します。

- ・メニューが表示されていないときにMENUボタンを押すと通常メニューが表示されます。メニューボタンを約3秒間押し続けるとSET UPメニューが表示されます。
- ・メニューが表示されているときにMENUボタンを押すとメニューは消えます。

② RELEASEボタン

レリーズボタンです。押すと画像をメモリーに取り込みます。

③ FUNCTION UP、DOWNボタン

メニューが表示されているときに押すとカーソルを上下に動かします。メニューが表示されていないときは動作しません。

④ DATA UP/WHITEボタン

メニューが表示されているときに押すと、数値が表示されているメニュー項目では数値が増加し、ON/OFF項目の場合はON/OFFが切り換わります。

メニューが表示されていないときに押すと、ホワイトバランスの自動調整が行われます。

⑤ DATA DOWN/BLACK ボタン

メニューが表示されているときに押すと、数値が表示されているメニュー項目では数値が減少し、ON/OFF項目の場合はON/OFFが切り換わります。

メニューが表示されていないときに押すと、ブラックバランスの自動調整が行われます。

⑥ LENS コネクター

レンズからのケーブルを接続します。

⑦ DP コネクター

デジタルプロセッサからのケーブルを接続します。

⑧ TRIGコネクター

フィルムカメラへのトリガーケーブル(HKA-100RZ)を接続します。

⑨ PC INコネクター

フィルムカメラのフラッシュケーブルを接続します。

⑩ FLASH コネクター

フラッシュからのケーブルを接続します。

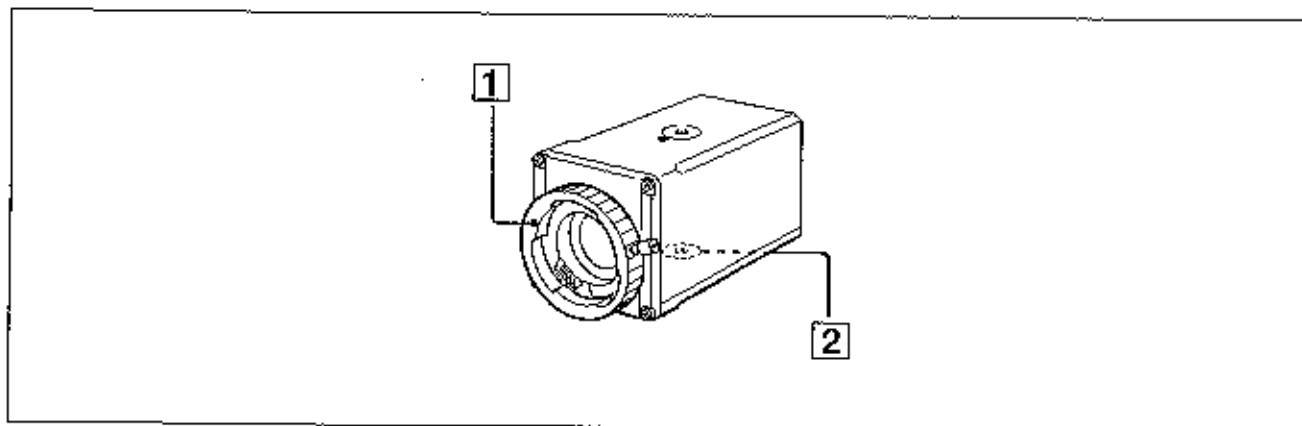
⑪ VFコネクター

ビューファインダーからのケーブルを接続します。

⑫ REMOTE コネクター

付属のリモコンRM-S72からのケーブルを接続します。

前面

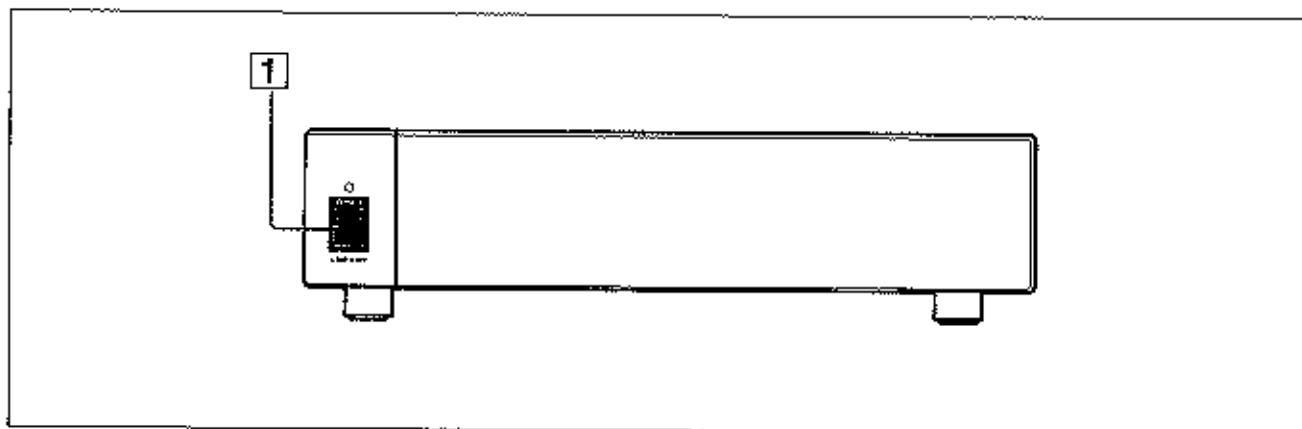


1 レンズマウント
レンズを取り付けます。

2 取付用ネジ穴
三脚アダプターへ取り付けるためのネジ穴です。

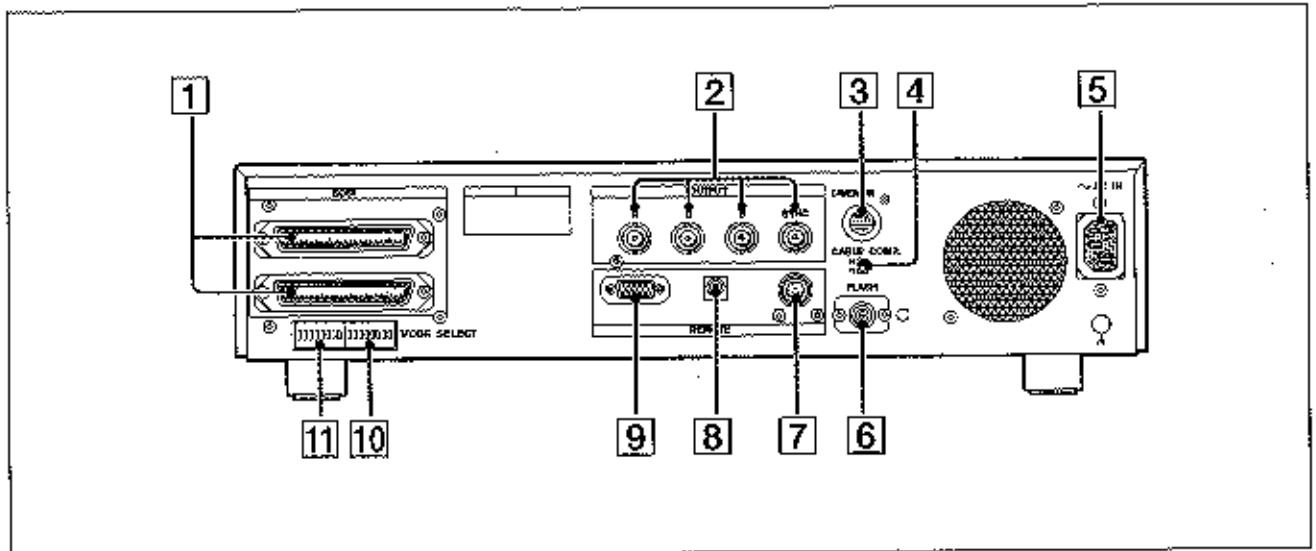
デジタルプロセッサ

フロントパネル



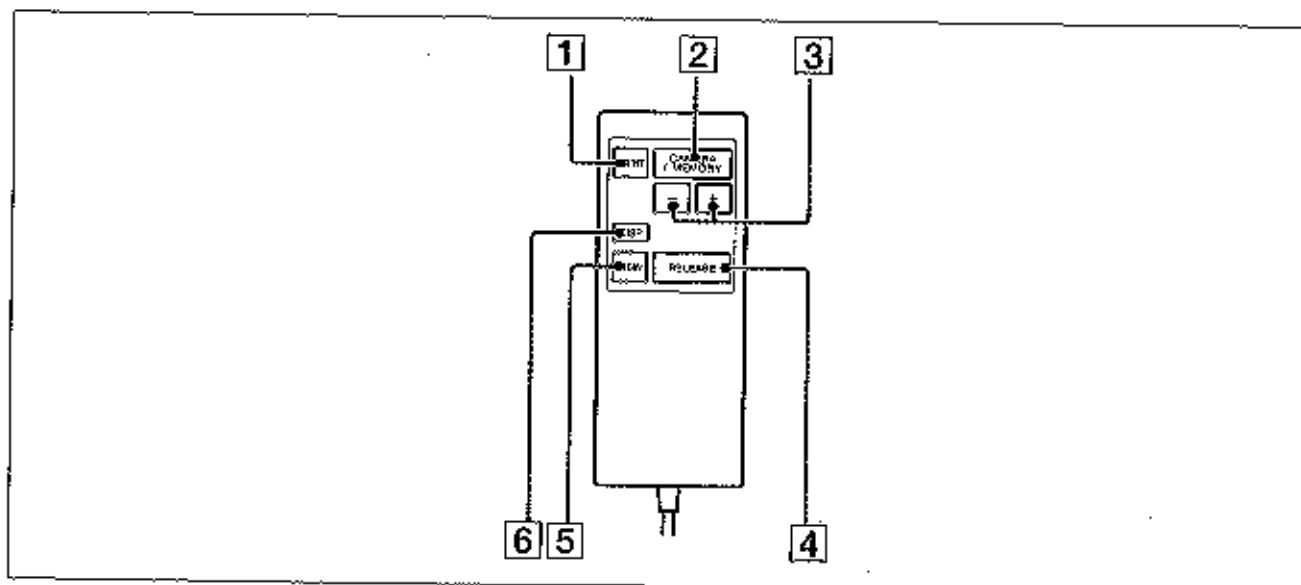
1 POWER スイッチ
デジタルプロセッサの電源をON/OFFします。

リアパネル



- 1** SCSIコネクター
他のSCSI装置 (コンピューターやプリンター) と接続します。
- 2** OUTPUTコネクター (R, G, B, SYNC)
モニターからのケーブルを接続します。
- 3** CAMERA INコネクター
カメラからのケーブルを接続します。
- 4** CABLE COMPスイッチ
カメラとの接続ケーブルの長さに応じて切り換えます。
ケーブル長が10mのときは10、25mのときは25に合わせます。
- 5** AC INコネクター
電源ケーブルを接続します。
- 6** FLASHコネクター
フラッシュからのケーブルを接続します。
フラッシュからのケーブルをカメラのコネクターに接続しているときは使用しません。
- 7** REMOTE1コネクター
リモコンRM-930を接続します。
- 8** REMOTE2コネクター
フットスイッチFS-20を接続するコネクターです。
- 9** REMOTE3コネクター
未使用
- 10** DIPスイッチ2
設定のしかたについては「DIPスイッチの設定」 (43ページ) をご覧ください。
- 11** DIPスイッチ1
設定のしかたについては「DIPスイッチの設定」 (43ページ) をご覧ください。

付属のリモコンRM-S72



① PRINTボタン

プリントメニューの表示およびプリント動作に使用します。詳しくは「プリントする」(24ページ)をご覧ください。

② CAMERA/MEMORYボタン

モニター画面のモードをCAMERAモードとMEMORYモードの間で交互に切り換えます。

③ +/-ボタン

次の値を設定します。

STILL絞り値：モニター画面がSTANDBYまたはCAMERAモードのとき、+/-ボタンはSTILL絞り値を増減します。

メモリー番号：モニター画面がMEMORYモードのとき、+/-ボタンはメモリー番号を切り換えます。

プリントレイアウト：プリントメニューが表示されているとき、+/-ボタンはレイアウトを切り換えます。

Full - Half - Index

④ RELEASEボタン

画像の取り込みを行なう、リリースボタンです。

カメラのRELEASEボタンと機能は同じです。

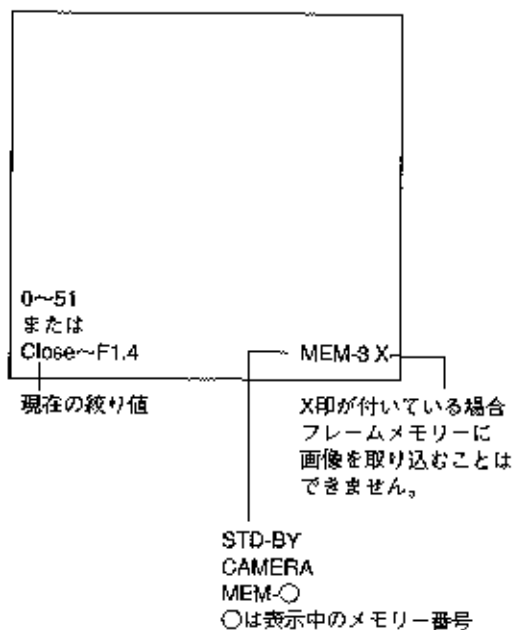
⑤ STDBYボタン

モニター画面のモードをSTANDBYモードに切り換えます。

⑥ DISPボタン

画面下部のモード表示を出します。

もう1度押すとモード表示が消えます。



別売りのリモコンRM-930

別売りのリモコンRM-930をデジタルプロセッサに接続して、カメラをコントロールすることができます。

接続

RM-930のCAMERAコネクタとデジタルプロセッサのREMOTE1コネクタを専用ケーブルで接続します。

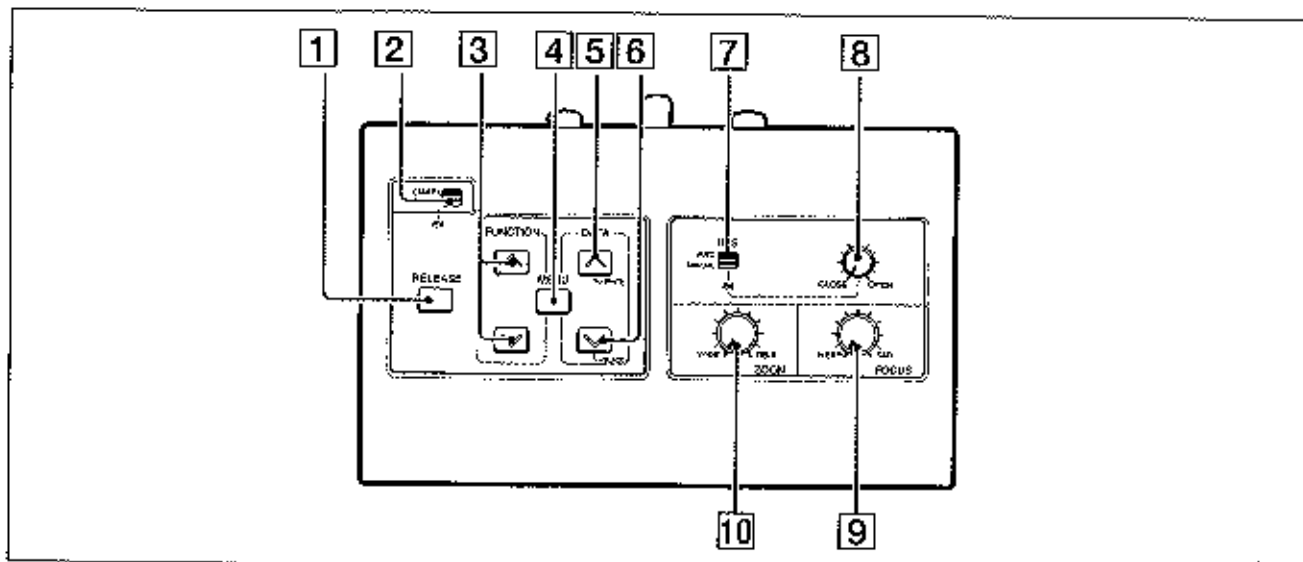
MONITOR OUT端子からは白黒のモニター信号が出力されます。

DC IN端子には何も接続しないでください。接続すると故障の原因となります。

操作

付属のテンプレートを上面左側のパネルに貼り付けて使用します。次ページの図はテンプレートを貼り付けた後の上面図です。

上面左側のボタンの機能は、テンプレートを貼ったあとの名称に対応したカメラのボタンと同じです。CAMERA/REMOTEスイッチを、REMOTEの位置にセットするとRM-930が使用できるようになりCAMERA側のボタンは働かなくなります。CAMERAの位置にセットするとRM-930は使用できなくなり、カメラを直接操作することになります。



1 RELEASEボタン

レリーズボタンです。押すと画像をメモリーに取り込みます。

2 CAMERA/REMOTEスイッチ

RM-930を使うときは、REMOTEにします。

REMOTEでは、カメラ側のボタンは使えません。

カメラ側のボタンを使うときは、CAMERAにします。CAMERAでは、RM-930は使えません。

3 FUNCTION A、Vボタン

メニューが表示されているときに押すとカーソルを上下に動かします。メニューが表示されていないときは動作しません。

4 MENUボタン

条件設定用のメニュー（通常メニューとSET UPメニュー）をモニターおよびビューファインダー上に表示します。

- ・メニューが表示されていないときにMENUボタンを押すと通常メニューが表示されます。メニューボタンを約3秒間押し続けるとSET UPメニューが表示されます。

- ・メニューが表示されているときにMENUボタンを押すとメニューは消えます。

5 DATA A /WHITEボタン

メニューが表示されているときに押すと、数値が表示されているメニュー項目では数値が増加し、ON/OFF項目の場合はON/OFFが切り換わります。

メニューが表示されていないときに押すと、ホワイトバランスの自動調整が行われます。

6 DATA V /BLACK ボタン

メニューが表示されているときに押すと、数値が表示されているメニュー項目では数値が減少し、ON/OFF項目の場合はON/OFFが切り換わります。

メニューが表示されていないときに押すと、ブラックバランスの自動調整が行われます。

7 IRISスイッチ

このスイッチは使用できません。（このスイッチはビデオ用カメラのときにのみ使用します。）

8 IRISつまみ

左に回すと絞りが絞られ、右に回すと開かれます。

9 FOCUSつまみ

標準レンズでは使用できません。電動フォーカス機能の付いたレンズではフォーカスの調節ができます。0(N)~255(∞)

10 ZOOMつまみ

標準レンズでは使用できません。

電動ズーム機能の付いたレンズではズームの調節ができます。0(W)~255(T)

押すとメニューは消えます。

ご注意

使用レンズの特性によって、つまみの動きと、それぞれの動作が正確に連動しない場合がありますのでご注意ください。

五十音順

あ行

- インストール 31
- インデックスサイズ 27
- エラーメッセージリスト 66

か行

- 解像度メニュー 57
- 画像サイズ表示ボックス 57
- 画像情報パネル 56
- 画像転送 34
- 画像リスト 58
- 画像リストパネル 58
- カメラコントロールバー 56, 58
- カメラコントロールメニュー 56, 58
- 起動 32
- キャンセルボタン 57, 58
- クロップ 34
- クロップするチェックボックス 56

さ行

- 再表示ボタン 57
- 撮影 22, 33, 36
- 撮影ボタン 57, 59
- 三脚アダプター 42
- 絞りメニュー 56, 58
- 縮小画選択メニュー 59
- 縮小画表示ボックス 56
- 初期設定パネル 52
- 初期値 49
- 静止画像ファイレリングシステム 8
- 接続 39
- SCSIケーブルの接続 40
- カメラの設定 13
- 全部ボタン 59

た行

- ターミネーター 40
- 縦長画像(ポートレート) 42
- 調整
 - 画角 20
 - 絞り 20, 33
 - ピント 20
 - ホワイトバランス 15
- 通常メニュー 13, 44
- 手入れ 62
- テーブル設定パネル 54
- 転送 34
- 転送ボタン 57, 58
- 登録ボタン 55
- 取込方向メニュー 52

は行

- ハーフサイズ 26
- パラメーター設定メニュー 63
- パラメーター表示ボックス 52
- 反転ボタン 55
- ヒストグラム表示ボックス 57
- 表示ボタン 58
- 表示モード 10
- フォトブルーフシステム 7, 35
- 付属品リスト 38
- ブラックバランス 28
- プリント 24
- フルサイズ 26
- ブロック図 65
- 方向選択メニュー 56, 59
- ポートレートシステム 7
- ボタン
 - DATA DOWN/BLACKボタン 68
 - DATA UP/WHITEボタン 68
 - DISPボタン 71
 - FUNCTION UP/DOWNボタン 68
 - MENUボタン 68

PRINTボタン 71
RELEASEボタン 68, 71
STDBYボタン 71
Saveボタン 53
Setボタン 53
キャンセルボタン 57, 58
再表示ボタン 57
撮影ボタン 57, 59
全額ボタン 59
転送ボタン 57, 58
登録ボタン 55
反転ボタン 55
表示ボタン 59
マークボタン 59
元へ戻る 52, 55
モニターボタン 57, 59
ホワイトバランス 15

ま行

マークボタン 59
メインカメラ交換 37
メディカルシステムにおける入力システム 8
メニュー
 SET UPメニュー 45
 通常メニュー 13, 44
 メモリー選択メニュー 58, 59

モード

CAMERAモード 10
LIVEモード 10
MEMORYモード 10
STANDBYモード 10
STILLモード 10
カメラのモード 10
表示モード 10
元へ戻るボタン 52, 55
モニターボタン 57, 59

や行

輸送 61
横長画像(ランドスケープ) 42

ら行

レンズマウント 69

英数記号

A

AC INコネクター 70

B

Blue 44

C

C.Temp 44

C.Tempメニュー 53

CABLE COMPスイッチ 70

CAMERA INコネクター 70

CAMERA/MEMORYボタン 71

Camera/Monitorメニュー 54

CAMERAモード 10

Cont 48

Contrast 47

D

DATA DOWN/BLACKボタン 68

DATA UP/WHITEボタン 68

DIPスイッチ 43, 70

DISPボタン 71

DPコネクター 68

E

Endless 49

F

Flash 44

FLASHコネクター 68, 70

Flashメニュー 52

FOCUSつまみ 73

FUNCTION UP/DOWNボタン 68

G

Gamma 47

Gammaメニュー 53

I

Iris Open 49

IRISスイッチ 73

IRISつまみ 73

ISO 46

L

LENSコネクター 68

Lens 48

Lensメニュー 52

(LIVE) 44, 46

LIVEモード 10

LUTエディター 54

LUT表示ボックス 55

LUTメニュー 55

M

MEMORYモード 10

MENUボタン 68

O

OUTPUTコネクター 70

P

Panelメニュー 52, 55, 57, 58

PC INコネクター 68

Planeメニュー 55

POWERスイッチ 69

PRINTボタン 71

R

Red 44
Release 48
RELEASEボタン 69, 71
Releaseメニュー 52
REMOTEコネクター 68
REMOTE1コネクター 70
REMOTE2コネクター 70
REMOTE3コネクター 70
Reset 49
RGB値表示ボックス 57
RM-930 72

S

Saveボタン 53
SCSIID 41, 43
SCSIコネクター 71
SET UP-CAMERA 46
SET UP-MODE 48
SET UP-PROCESS 47
SET UP-RESET 49
SET UPメニュー 45
Setボタン 53
Sharpness 47
Sharpnessメニュー 53
Shutter 46
Single 48
STANDBYモード 10
STDBYボタン 71
(STILL) 44, 46
STILLモード 10

T

TRIGコネクター 68

V

VFコネクター 68

Z

ZOOMつまみ 73

+/-ボタン 71